

第3章 経済・産業

～域内循環と外から稼ぐ力を高める仕組みをつくる～

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	農業用水道管理事業<繰越明許費><当初>
分類	令和3年度予算繰越明許事業 令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部農林課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
目的と概要	阿寒・音別地区では、農業基盤の整備のため農業用水道施設を整備し、安心・安全な水を供給している。各施設の状態に応じた計画的な整備を実施し機能の維持を図ることで、安定的な農業経営に寄与する。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		84,421	64,675	145,673
財源	一般財源 (千円)	32,818	17,407	20,524
	国道支出金 (千円)	25,073	22,268	38,249
	地方債 (千円)	20,100	25,000	86,900
	使用料・手数料 (千円)	6,430	0	0
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	3,534	3,520	3,608
①	職員数 (人)	0.5	0.5	0.5
参考	市民一人あたりの費用 (円)		406.7	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		157.2	
注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>○農業水路等長寿命化・防災減災事業 農業用水道施設設備更新工事 (阿寒地区) 共和、西徹別、紀ノ丘浄水場における、老朽化の進んだ施設の設備・機器等の更新を行い、安心・安全な水の供給を行う。 共和、西徹別、紀ノ丘浄水場の施設・機器等の更新</p> <p>(音別地区) 尺別、川西農業用水道における、老朽化の進んだ施設の設備・機器等の更新を行い、安心・安全な水の供給を行う。 尺別、川西農業用水道の施設・機器等の更新</p> <p>○道営水利施設等保全高度化事業 上音別農業用水道施設沈砂池・取水施設道営工事(令和5~7年着工予定)測量</p>	<p>○農業水路等長寿命化・防災減災事業 農業用水道施設更新工事 (阿寒地区) ・共和浄水場設備更新工事 NO.1・2原水ポンプ、着水流量計、ろ過流量計、着圧伝送器、配水池水位計 ・西徹別浄水場設備更新工事 1・2系配水流量計、取水井水位計、ポンプ井水位計、配水池水位計、中央監視 ・紀ノ丘浄水場設備更新工事 取水流量計、取水ポンプ、中央監視</p> <p>紀ノ丘浄水場 取水流量計 共和浄水場 取水流量計 西徹別浄水場 取水流量計</p>  <p>(音別地区) ・川西農業用水道施設 パルス発信式流量計更新 ・尺別農業用水道施設 侵入防止フェンス改修工事</p> <p>川西パルス式流量計 尺別侵入防止フェンス</p>  <p>○道営水利施設等保全高度化事業 上音別農業用水道施設沈砂池・取水施設工事計画(測量)</p>

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 農業用水道施設建設以降、小規模な修繕を行い安心・安全な水の供給をおこなっている。しかし、耐用年数を超えての使用や使用頻度の高い機器が交換時期を迎えており、安定した安心安全な水の供給に支障をきたす恐れがあることから、設備の計画的更新が課題となっている。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 農業用水道施設建設以降、小規模な修繕を行い安心・安全な水の供給をおこなっている。しかし、耐用年数を超えての使用や使用頻度の高い機器が交換時期を迎えており、安定した安心安全な水の供給に支障をきたす恐れがあることから、設備の計画的更新が課題となっている。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に策定した、長寿命化計画に基づいて計画的に設備の更新を行っていく。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 音別地区の農業用水道施設については、道営事業を活用し高度化及び更新を行っていく。また、阿寒地区については、設備等の耐用年数や消耗の度合いを考慮し、設備の計画的な更新を行っていく。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	農業経営基盤強化促進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部農林課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	音別地区の市営牧場(尺別牧場)の放牧地では、草地在老朽化しており、採食量等満足に確保できない状態となっている。そのため草地整備を計画的に実施することで、良質な牧草を確保し、丈夫で健康な搾乳牛の育成や品質の良い生乳生産の増大を図る。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画 令和4年度事業計画	(2)事業の実績と成果 令和4年度事業実績
<p>◎既存草地の植生を改善(追播)することにより、育成牛の資質向上を図る。</p> <p>・草地整備事業(簡易更新) 10ha</p> <p>【全体概要など】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業主体 ~ 釧路市、(一社)釧路市音別町農業振興公社 ・実施箇所 ~ 音別地区 ・戸数 ~ 19戸 ・全体期間 ~ 平成25年度~令和4年度 ・全体面積 ~ 100ha ・全体事業費 ~ 13,000千円 <p>※事業費については、市が農業振興公社へ事業負担金として毎年支払う。</p>	<p>◎植生(雑草)対策として草地整備を実施する予定だったが、長雨などによる天候不順、また共同利用機械のため、地域利用を最優先としており、天候による作業の遅れにより実施には至らなかった。</p> <p>・草地整備事業(簡易更新) 0ha</p>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		1,113	0	0
財源	一般財源 (千円)	1,113	0	0
	国庫支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	707	0	0
①	職員数 (人)	0.1	0.0	0.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		0.0	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

【整備前】植生にバラつきが見られる



【整備後のイメージ】植生が改善され全面草地となる



3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
課題	・尺別牧場では、牧区(数頭の一団を放牧する土地のまとまり)毎に回転させながら放牧しているが、牧区毎の牧草の品質及び収穫量に差が出ている。また、天候により播種時期の判断が難しい。	課題	・尺別牧場では、牧区(数頭の一団を放牧する土地のまとまり)毎に回転させながら放牧しているが、牧区毎の牧草の品質及び収穫量に差が出ている。また、天候不順による実施の判断が難しい。
今後(令和5年度以降)の方向性	・令和4年度で事業期間が終了することから、次期事業を検討し、安定的な餌の確保のため計画的な草地整備を進める。	今後(令和6年度以降)の方向性	・次期事業への検討を行い、安定的な餌の確保に向けての計画的な草地整備を進める。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート






1 事業名等

事業名	国営緊急農地再編整備事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部農林課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	本地区の農地は、排水不良や小区画で不整形なほ場が多く、離農跡地の取得により分散化していることから、効果的な農作業ができない状況となっているため、地域が目指す粗飼料の分業化・組織による農作業の効率化に向け、区画整理によるほ場の大区画化や排水不良を解消することと併せて、農地を集団化することにより、効率的な農作業を可能とする生産性の高い基盤整備を構築する。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		43,308	24,011	52,152
財源	一般財源 (千円)	253	264	204
	国庫支出金 (千円)	25,845	15,716	31,923
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)	17,210	8,031	20,025
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	14,134	14,080	14,430
①	職員数 (人)	2.0	2.0	2.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		151.0	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画 令和4年度事業計画 ① 阿寒工区換地計画 ・一時利用地の指定(59.5ha) ② 釧路工区換地計画 ・一時利用地の指定(110.0ha) ③ 施工順番に関する権利者調整及び通年施工実施に向けた受益者調整 翌年度の工事実施に向けた整備要望や作付け計画について、関係権利者との調整を行い施工順番及び夏期施工の対象地を決定する。
国営緊急農地再編整備事業「阿寒地区」の計画概要 ・地区計画面積 2,407ha ・受益戸数 53戸 ・総事業費(予定) 11,000,000千円 事業負担 国:8,250,000千円 道 :2,013,000千円 市: 440,000千円 受益者 : 297,000千円 ・地区調査計画 平成26年度～平成29年度 農地の集団化による大区画化への区画整理(換地)と排水不良地などの調査を実施 ・事業実施計画 平成30年度～令和11年度(予定)

(2)事業の実績と成果 令和4年度実績 ① 阿寒工区換地計画 ・整備済区画(80.2ha)の利用を一時的に認める通知書を作成した。 ② 釧路工区換地計画 ・整備済区画(136.3ha)の利用を一時的に認める通知書を作成した。 ※12月計画変更により①②の一時利用地指定面積が増となった。 ③ 施工順番に関する権利者調整及び通年施工実施に向けた受益者調整 翌年度の工事実施に向けた整備要望や作付け計画について、関係権利者との調整を行い施工順番及び夏期施工の対象地を決定した。
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>整備前</p>  <p>2.4ha</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>整備後</p>  <p>14.5ha</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; margin: 10px 0;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>大型機械が入りにくく効率が悪い</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>大区画化や排水性の改善により、効率的な農作業となる</p> </div> </div>

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 本事業に対する受益者(農家)との合意形成の強化。 工事実施と営農スケジュールとの調整。 事業期間が10数年に及ぶため、受益者の高齢化が進む。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 本事業に対する受益者(農家)との合意形成の強化。 工事実施と営農スケジュールとの調整。 事業期間が10数年に及ぶため、受益者の高齢化が進む。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 事業を通じて将来的に農作業がしやすい土地の区画のあり方について、受益者と土地所有者との調整を行っていく。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 事業を通じて将来的に農作業がしやすい土地の区画のあり方について、受益者と土地所有者との調整を行っていく。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	市営牧場整備事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部農林課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	農業農村整備事業管理計画(北海道)
目的と概要	本事業は、釧路・阿寒地区及び音別地区に設置された市営牧場において、酪農家の経営コスト削減や労力の省力化のため、子牛などを預かり育成する預託業務や牛に与える飼料(牧草)の管理を行うとともに、草地の適切な管理から収穫、貯蔵まで必要な整備等を行うものである。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>○牧柵の設置 道営草地畜産基盤整備事業において、草地整備を実施したほ場に順次牧柵を設置し、預託牛の育成に必要な放牧地を確保する。</p> <p>○道営草地畜産整備事業(公共牧場整備事業) 市営牧場においては、長期間の利用により起伏の発生や排水機能の低下、非牧草の侵入がみられる草地の整備を行うとともに、釧路・阿寒地区に分散する牧場機能を集約し、効率的な経営を図るために施設の再編整備を行い、酪農生産のコスト低減と生産力を向上させるべく、平成30年度から令和5年度にかけて補助事業によりそれらの整備を実施することとしている。今年度においては、施設整備として育成舎の整備や草地整備等を実施する。</p>	<p>○牧柵の設置 草地整備を実施したほ場において、牧柵を設置した。預託牛の育成に必要な放牧地を確保することができたため、夏季期間は放牧による預託牛の適切な管理がなされた。</p> <p>○道営草地畜産整備事業(公共牧場整備事業) 育成舎、監視舎、家畜計量施設の整備及びトラクターの導入を実施した。本事業により新野牧場における牧場機能の集約化が図られることから、順次施設の整備を進めていく。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>草地整備として起伏修正及び暗渠整備を実施した。また、作業機による牧草地管理作業で、牧草の繁茂密度が高まり、収量増加と採草作業の効率改善が図られる。</p> 

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		172,598	199,159	165,751
財源	一般財源 (千円)	37,902	34,577	44,977
	国道支出金 (千円)	96	64	63
	地方債 (千円)	134,600	164,500	86,100
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)		18	34,611
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	707	704	722
①	職員数 (人)	0.1	0.1	0.1
参考	市民一人あたりの費用 (円)		1,252.5	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		1,034.5	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持	
課題	・ 作業用機械の老朽化が激しく作業に支障をきたしている。また、給水設備等の牧場施設の老朽化による故障が発生している。	課題	・ 作業用機械の老朽化が激しく作業に支障をきたしている。また、給水設備等の牧場施設の老朽化による故障が発生している。
今後(令和5年度以降)の方向性	・ 道営公共牧場整備事業による施設又は草地の整備を計画に基づき着実に実施し、生産性の向上を図る。(釧路地区) 整備した作業機械による草地改良を継続する。また、老朽化した施設の計画的な整備、修繕を実施する。(音別地区)	今後(令和6年度以降)の方向性	・ 道営公共牧場整備事業による施設又は草地の整備を計画に基づき着実に実施し、生産性の向上を図る。(釧路地区) 整備した作業機械による草地改良を継続する。また、老朽化した施設の計画的な整備、修繕を実施する。(音別地区)

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	中山間地域等直接支払制度交付事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部農林課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
目的と概要	中山間地域※において、農業生産の維持を図りつつ多面的機能(国土や環境の保全、自然とのふれあいを通じた教育の場の提供、地域色豊かな伝統文化の継承等)を確保するという観点から、農業の環境を守るための取決めである協定に基づく農業生産活動を行う農業者(農業生産法人等を含む)の集まりである集落に対し、支援を実施する。(令和2年度～令和6年度の5か年事業)

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>耕作放棄防止などの活動の協定を結んだ集落に対し、農地面積に応じて支払われる交付金を排水路管理等の共同取組活動等に使用する。</p> <p>【釧路集落】 交付対象農用地面積 : 15,883,153㎡ 交付金額 : 23,824,729円 主な共同取組活動 : 有機肥料活用センター支援 フラワーロード事業 廃プラ適正運搬活動等</p> <p>【阿寒集落】 交付対象農用地面積 : 27,157,545㎡ 交付金額 : 40,736,317円 主な共同取組活動 : 排水路整備 高齢者生きがい対策 担い手の育成 廃プラ適正運搬活動等</p> <p>【音別集落】 交付対象農用地面積 : 17,976,801㎡ 交付金額 : 26,965,201円 主な共同取組活動 : 鳥獣害防止施設の管理 地区会館等環境美化 各団体助成 農業機械の有効活用等</p>	<p>本事業により、集落構成員の積極的な活動によって、農村環境の保全がなされた。</p> <p>【釧路集落】 交付対象農用地面積 : 15,174,427㎡ 交付金額 : 23,276,140円 主な共同取組活動 : 有機肥料活用センター支援 フラワーロード事業 廃プラ適正運搬活動等</p> <p>【阿寒集落】 交付対象農用地面積 : 24,340,238㎡ 交付金額 : 36,510,357円 主な共同取組活動 : 排水路整備 高齢者生きがい対策 担い手の育成 廃プラ適正運搬活動等</p> <p>【音別集落】 交付対象農用地面積 : 14,856,537㎡ 交付金額 : 22,284,805円 主な共同取組活動 : 鳥獣害防止施設の管理 地区会館等環境美化 各団体助成 農業機械の有効活用等</p>
<p>【用語の解説】 ※中山間地域 平地から山間地にかけての傾斜地が多く、農業に不利な地域を指す。山地の多い日本では、このような中山間地域が国土面積の約7割を占めている。 ※廃プラ 農業用廃プラスチックの略。ビニールハウスや牧草ロールに巻きつけるラップ等を指す。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;"> フラワーロードの様子 排水路管理の様子 </p>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		81,071	82,734	92,260
財源	一般財源 (千円)	20,323	20,756	22,868
	国道支出金 (千円)	60,748	61,978	69,392
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	1,413	1,408	1,443
①	職員数 (人)	0.2	0.2	0.2
参考	市民一人あたりの費用 (円)		520.3	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果					
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 10px;"> <tr> <td style="width: 50px;">評価</td> <td style="width: 100px;">継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持	該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 10px;"> <tr> <td style="width: 50px;">評価</td> <td style="width: 100px;">継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持
評価	継続維持						
評価	継続維持						
課題	<ul style="list-style-type: none"> 農用地の耕作放棄防止の観点から一定の効果があり、集落構成員からも評価されているが、農家の高齢化、後継者不足の問題は確実に進行しており今後においても対策が必要である。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 農用地の耕作放棄防止の観点から一定の効果があり、集落構成員からも評価されているが、農家の高齢化、後継者不足の問題は確実に進行しており今後においても対策が必要である。 				
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 中山間地域等直接支払交付金事業(国の制度による事業)は平成26年度より法制化され、令和2年度から第五期対策が始まっている。中山間地域の農業振興のためには今後も当該事業の継続が必要である。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 中山間地域等直接支払交付金事業(国の制度による事業)は平成26年度より法制化され、令和2年度から第五期対策が始まっている。中山間地域の農業振興のためには今後も当該事業の継続が必要である。 				

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	多面的機能支払交付金事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部農林課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
目的と概要	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進し、担い手農家への農地集積という構造改革を後押しする。(令和3年度～令和8年度の5か年計画)

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>地域資源の適切な保全活動等の協定を結んだ集落に対し、農地面積に応じて支払われる交付金を農用地、水路、農道の整備等に使用する。</p> <p>【釧路集落】 交付対象農用地面積 : 194,535a 交付金額 : 2,528,955円 主な共同取組活動 : 農業者の検討会 水路・農道の整備・管理等</p> <p>【阿寒集落】 交付対象農用地面積 : 311,975a 交付金額 : 4,055,675円 主な共同取組活動 : 農業者の検討会 水路・農道の整備・管理等</p>	<p>本事業により、集落構成員の積極的な活動によって、地域資源の適切な保全がなされた。</p> <p>【釧路集落】 交付対象農用地面積 : 194,535a 交付金額 : 2,528,955円 主な共同取組活動 : 農業者の検討会 水路・農道の整備・管理等</p> <p>【阿寒集落】 交付対象農用地面積 : 311,960a 交付金額 : 4,055,480円 主な共同取組活動 : 農業者の検討会 水路・農道の整備・管理等</p>
<p>多面的機能支払交付金事業の概要 ・地域共同で行う多面的機能を支える活動や、地域資源(農地・水路・農道等)の質的向上を図る活動を支援</p> <p>○農地維持支払 【対象活動】 ・農地法面の草刈、水路の泥上げ、農道の路面維持等 地域資源の基礎的保全活動 ・農村の構造変化に対応した体制の拡充・強化 保全管理構想の策定等</p> <p>○資源向上支払 【対象活動】 ・地域資源の質的向上を図る共同活動 (水路・農道・ため池の軽微な修繕、農村環境保全活動の幅広い展開) ・施設の長寿命化の活動</p>	

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		6,886	6,886	6,885
財源	一般財源 (千円)	1,648	1,648	1,647
	国道支出金 (千円)	5,238	5,238	5,238
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	1,413	1,408	1,443
①	職員数 (人)	0.2	0.2	0.2
参考	市民一人あたりの費用 (円)		43.3	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持	
課題	・農用地、水路、農道等は経年による劣化が進むため継続的な保全活動が求められている。	課題	・農用地、水路、農道等は経年による劣化が進むため継続的な保全活動が求められている。
今後(令和5年度以降)の方向性	・令和3年度から令和8年度までの5か年計画で事業を進めており、安定した地域農業の経営基盤を確立するためには、今後も当事業の継続が必要である。	今後(令和6年度以降)の方向性	・令和3年度から令和8年度までの5か年計画で事業を進めており、安定した地域農業の経営基盤を確立するためには、今後も当事業の継続が必要である。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	大家畜特別支援資金利子補給事業<2月補正>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部農林課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
目的と概要	農・肉畜経営者が経営改善計画の実現を図るために、国から長期・低利の大家畜特別支援資金の貸付を受けた際に発生する利子に対して、釧路市が北海道と協調して補給する。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
令和4年度新規貸付4件分に対し、釧路市と道で利子補給を行う。 (阿寒地区:3件、音別地区:1件) 利子補給に対し、2/3道より補助金が交付される。	令和4年度事業実施結果は以下のとおり。 ○債務負担詳細 債務負担期間 R5~R29 借入総額 269,068,000円 平均残高 23,589,523円 ○令和4年度利子補給額(当初頭出し分) 利子補給率 0.18%(道0.12% 市0.06%) 利子補給額 42,460円(道28,307円 市14,153円)

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		4	42	484
財源	一般財源 (千円)	1	14	161
	国道支出金 (千円)	3	28	323
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	777	704	722
①	職員数 (人)	0.1	0.1	0.1
参考	市民一人あたりの費用 (円)		0.3	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持	
課題	・畜産経営においては、施設整備資金や家畜の導入などに多額の投資が必要であり、他の農作物と比して負債額が大きいことから、畜産経営を維持するため、資金面での支援が不可欠である。	課題	・畜産経営においては、施設整備資金や家畜の導入などに多額の投資が必要であり、他の農作物と比して負債額が大きいことから、畜産経営を維持するため、資金面での支援が不可欠である。
今後(令和5年度以降)の方向性	・負債の償還が困難な経営者に対し、長期・低利の借換資金の融通を行うことにより、経営の安定及び後継者への経営継承の円滑化が図られるため、当事業を継続していく必要がある。	今後(令和6年度以降)の方向性	・負債の償還が困難な経営者に対し、長期・低利の借換資金の融通を行うことにより、経営の安定及び後継者への経営継承の円滑化が図られるため、当事業を継続していく必要がある。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	農村地域人材育成推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部農林課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
目的と概要	農村地域の担い手不足の解消、地元農産物の消費拡大を目的とし、地域おこし協力隊による釧路の農業の情報発信、就農希望者への情報提供、支援及び地元農産物のPR活動、地産地消推進活動等を行う。

2 当初計画と実績・コスト・成果

<p>(1)年度当初計画</p> <p>地域おこし協力隊による釧路の農業の情報発信、就農希望者への情報提供、支援、地元農産物のPR活動、地産地消等の食育推進活動を実施する。</p>	<p>(2)事業の実績と成果</p> <p>地域おこし協力隊を委嘱し、釧路の農業についてソーシャルネットワーキングサービス(SNS)等を活用した情報発信を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牛乳消費拡大の取り組みへの協力 ・北海道地域情報発信メディアへの出演 ・公共牧場での作業協力 ・新作物栽培への協力 ・道内大学生の酪農体験受入への協力 ・出前授業への協力 <p>また、就農相談会等において就農希望者への情報提供等を実施した。</p> <div style="text-align: center;">  <p>就農相談会へ参加し就農希望者へ情報提供</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>市内行事での牛乳配布、牛乳消費拡大の呼びかけ</p> </div>
--	--

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		2,738	4,553	9,600
財源	一般財源 (千円)	2,738	4,553	9,600
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	707	704	722
①	職員数 (人)	0.1	0.1	0.1
参考	市民一人あたりの費用 (円)		28.6	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等


令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、生産者団体と連携した農業体験が実施できない等、地域おこし協力隊の活動に制約を受けた。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・釧路市の農業や農産物の魅力の発信が、就農希望者の呼び込みや地元農産物の消費拡大に繋がるよう、情報発信から継続性のある取り組みを発展していくこと。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度に委嘱予定の地域おこし協力隊員を含め、担い手不足の解消、地元農産物の消費拡大を目的とした活動を、生産者団体等と連携し実施する。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度に委嘱予定の地域おこし協力隊員を含め、担い手不足の解消、地元農産物の消費拡大を目的とした活動を、生産者団体等と連携し実施する。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	農村地域情報通信環境整備事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部農林課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	農山漁村振興交付金(うち情報通信環境整備対策)を活用した情報通信設備や計装機器等の整備により、農業農村インフラである農業用水道施設の管理の省力化、高度化を図る。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>通信設備等の整備により、農業農村インフラの管理の省力化、高度化を図るため、情報通信機器整備計画を策定する。</p> <p><対象となる農業農村インフラ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業用水道(共和・尺別・上音別) <p><調査検討内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の情報通信環境調査 ・無線通信の試行調査 ・情報通信施設の導入規格選定等の技術的検討 ・整備計画の策定 等 	<p>通信設備等の整備により、農業農村インフラの管理の省力化、高度化を図るため、情報通信機器整備計画を策定した。</p> <p><対象となる農業農村インフラの状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺の携帯電話サービスエリア等の通信環境の把握 ・計器類の設置状況と運用方法の確認 <p><試行調査></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中継局等の通信機器、水位計等の計器を設置し、通信状況等の調査を実施 <p><通信規格等の検討></p> <ul style="list-style-type: none"> ・試行調査結果に基づき、農業農村インフラの周辺環境や運用方法に適した通信規格等の技術的検討を実施
	
	【試行調査における通信機器の設置】

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		0	10,329	5,511
財源	一般財源 (千円)	0	0	80
	国道支出金 (千円)		10,329	3,031
	地方債 (千円)			2,400
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	0	3,520	3,608
①	職員数 (人)	0.0	0.5	0.5
参考	市民一人あたりの費用 (円)		65.0	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等


令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="text" value="評価"/>		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="text" value="評価"/> <input type="text" value="継続維持"/>	
課題	令和4年度からの新規事業のため、空欄となります。	課題	・通信状況は地形や植生などの自然環境の影響を受けることから、農業農村インフラの周辺環境や運用方法に適した通信規格等の選定が重要になる。
今後(令和5年度以降)の方向性	令和4年度からの新規事業のため、空欄となります。	今後(令和6年度以降)の方向性	・計画に基づき農業農村インフラの通信環境整備を実施する。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	豊かな森づくり推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部農林課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 ふるさとの山づくり総合計画
目的と概要	伐採後の確実な植林や伐採跡地等への造林を実施した森林所有者に対して、事業費の一部について補助金を交付することにより、森林資源の循環利用と森林の有する多面的機能(生物種及び生態系の保全、地球温暖化の緩和及び二酸化炭素吸収、土砂災害防止、水資源貯留及び水質浄化等)の発揮を図る。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果										
<p>伐採後の確実な造林と、森林所有者の森林整備に係る負担を軽減し、計画的な森づくりを通じて森林資源の循環利用(植えて、育てて、伐って、使って、また植える)と林業の再生が促進されるよう、造林事業費の68%の公共補助金に、市が26%の上乗せ補助を実施する事業である。 (そのうち16%については北海道より補助される) <事業実施イメージ>カラマツ1haを植林した場合の例</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">国費51% 約43万円</td> <td style="width: 25%;">道費17% 約15万円</td> <td style="width: 25%;">道16% 約14万円</td> <td style="width: 25%;">市10% 約8万円</td> <td style="width: 10%;">所有者6% 約5万円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">公共事業</td> <td colspan="2">豊かな森づくり 推進事業</td> </tr> </table> <p>※カラマツを1ha植林(事業費85万円)とすると、所有者負担は約5万円</p> <p>当初計画 造林面積 76.50ha 補助金額17,669,806円</p> <p>【内訳】 ○阿寒地区 造林面積 39.50ha 補助金額 10,035,996円 ○音別地区 造林面積 37.00ha 補助金額 7,633,810円</p>	国費51% 約43万円	道費17% 約15万円	道16% 約14万円	市10% 約8万円	所有者6% 約5万円	公共事業			豊かな森づくり 推進事業		<p>本事業の実施により、伐採後の着実な植林や伐採跡地等への植林が確実に実施され、森林資源の循環利用、森林の持つ多面的機能の発揮と山村地域の振興が図られた。</p> <p>事業実績 造林面積 68.31ha 補助金額13,867,551円</p> <p>【内訳】 ○阿寒地区 造林面積 32.76ha 補助金額 7,100,918円 ○音別地区 造林面積 35.55ha 補助金額 6,766,633円</p> <p>【植林後の苗木】</p> 
国費51% 約43万円	道費17% 約15万円	道16% 約14万円	市10% 約8万円	所有者6% 約5万円							
公共事業			豊かな森づくり 推進事業								

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		14,096	13,868	13,738
財源	一般財源 (千円)	5,422	5,344	5,285
	国道支出金 (千円)	8,674	8,524	8,453
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	707	704	722
①	職員数 (人)	0.1	0.1	0.1
参考	市民一人あたりの費用 (円)		87.2	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	・森林の公益的機能の維持のためには伐採跡地の着実な造林が求められているが、森林所有者の費用負担を伴うものであることから、森林所有者の理解促進や造林費用への支援策が必要な状況となっている。	課題	・森林の公益的機能の維持のためには伐採跡地の着実な造林が求められているが、森林所有者の費用負担を伴うものであることから、森林所有者の理解促進や造林費用への支援策が必要な状況となっている。
今後(令和5年度以降)の方向性	・伐採後の確実な造林を促進するため、北海道とも連携し、当該事業の実施を継続し森林所有者の負担軽減を図る。	今後(令和6年度以降)の方向性	・伐採後の確実な造林を促進するため、北海道とも連携し、当該事業の実施を継続し森林所有者の負担軽減を図る。



令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	市有林収穫事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部農林課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	釧路市森林経営計画
目的と概要	成熟期を迎えた釧路市有林の人工林資源を環境に配慮した形(小面積伐採、帯状伐採(更新伐)※)で伐採を行い、地域材利活用の取り組みに資するとともに、「植えて、育てて、伐って、使って、また植える」という、資源管理を前提とした森林資源の循環利用を確立する。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		43,626	60,470	27,186
財源	一般財源 (千円)	△ 4,456	19,238	0
	国道支出金 (千円)	29,052	40,880	14,630
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	2,827	2,816	2,886
①	職員数 (人)	0.4	0.4	0.4
参考	市民一人あたりの費用 (円)		380.3	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>森林経営計画に基づく収穫事業を実施。輪伐期(植栽から伐採までの期間)をカラマツ45年、トドマツ55年程度とし、年間30ha程度の伐採(伐採率50%の更新伐60ha)を継続的に行い、地域に地場産材を提供できる体制を確立。伐採後は森林環境保全直接支援事業により植栽・保育を行い、地域材の利活用と森林の有する公益的機能の高度発揮の両立を図る。環境に配慮した小面積伐採(40m幅の帯状伐採)を行うことで、公共造林補助を活用する。(補助率68%)</p> <p>当初計画 市有林収穫(更新伐)面積 10.00ha</p> <p>○釧路地区【塘路】の市有林収穫(更新伐)事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 更新伐面積 10.00ha 樹下植栽面積 8.00ha 下刈面積 38.00ha シカ柵等延長 2,000m 森林調査一式 10.00ha <p>○阿寒地区【東栄他】の市有林収穫(更新伐)事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 樹下植栽面積 21.54ha 下刈面積 43.97ha シカ柵等延長 4,976m <p>○音別地区【川西】の市有林収穫(更新伐)事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 下刈面積 11.74ha <p>※「更新伐」とは一度に全ての立木を伐採するのではなく、樹高の2倍程度である40m幅で「伐る」「残す」を繰り返す伐採方法。帯状に伐採した部分には新たに造林・保育を行う。</p>	<p>伐採された市有林は、森林組合が買い取り森林組合から道東や北網圏の製材業者等へと卸され、建築資材等に利活用されたとともに、森林資源の維持のために植栽・保育を行うなど市有林を適切に保全することができた。</p> <p>事業実績 市有林収穫(更新伐)面積 9.74ha</p> <p>○釧路地区【塘路】の市有林収穫(更新伐)事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 更新伐面積 9.74ha 樹下植栽面積 6.54ha 下刈面積 34.40ha シカ柵等延長 1,430m 森林調査一式 9.16ha <p>○阿寒地区【東栄他】の市有林収穫(更新伐)事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 樹下植栽面積 20.61ha 下刈面積 43.04ha シカ柵等延長 4,484m <p>○音別地区【川西】の市有林収穫(更新伐)事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 下刈面積 11.74ha
 	
<p>更新伐後の釧路地区の市有林</p> <p>積み上げられた木材</p>	

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等


令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
<p>該当する自己評価結果をリストから選択してください。</p> <p style="text-align: center;">評価 継続維持</p>		<p>該当する自己評価結果をリストから選択してください。</p> <p style="text-align: center;">評価 継続維持</p>	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 事業費に対し公共造林補助金が68%交付され補助残が32%となっており、伐採したカラマツ立木は売り払いを実施した。立木価格は市場動向等の要因により変動するため、今後も価格が安定して推移するかが課題。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 伐採したカラマツ立木は売り払いを実施するが、立木価格は市場動向等の要因により変動するため、今後も価格が安定して推移するかが課題。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 本事業は、地域の林業・木材産業・木材関連産業の活性化に寄与するとともに、関連して発生する森林整備事業(植栽・保育)の事業量増による雇用創出が図られるため、今後も計画的かつ継続的に事業を実施していく。また更新伐により伐採する立木については、事業費に充当するため売り払いを実施する。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 本事業は、地域の林業・木材産業・木材関連産業の活性化に寄与するとともに、関連して発生する森林整備事業(植栽・保育)の事業量増による雇用創出が図られるため、今後も計画的かつ継続的に事業を実施していく。また伐採する立木については、事業費に充当するため売り払いを実施する。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	林業振興事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部農林課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 北海道森林づくり基本計画
目的と概要	森林環境譲与税を活用し、2019年度からの森林経営管理法の施行にともなう森林経営管理制度を推進するほか、私有林の整備への助成、及び森林整備を行う林業事業者等への支援を行い、市内の森林整備を促進する。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>1 私有林整備への支援</p> <p>①森林整備対策推進事業 ・北海道が行う造林関係事業を実施する際に、上乗せ助成を行い、森林所有者の整備費用負担を軽減する。</p> <p>・実施計画面積 植栽・下刈・間伐等 :面積1,022.25ha 鳥獣害防止施設等設備(シカ柵) :延長12,800m</p> <p>②私有林整備事業</p> <p>・私有林における間伐や路網作設強化等への補助</p> <p>・実施計画面積 :30.00ha</p>	<p>1 私有林整備への支援</p> <p>①森林整備対策推進事業</p> <p>・実施内容 植栽・下刈・間伐等 :面積755.94ha 鳥獣害防止施設等設備(シカ柵) :延長6,031m</p> <p>②私有林整備事業</p> <p>・実施面積 :27.18ha (間伐事業)</p> 
<p>2 森林整備を行う林事業者等への支援</p> <p>・林業事業者及び森林組合における林業就業者の作業の効率化や労働環境の整備に支援することにより、林業就業者の定着を促進するとともに林業事業者の育成を図る。</p> <p>・実施計画 林業事業者作業用具等購入支援事業 18件</p>	<p>2 森林整備を行う林事業者等への支援</p> <p>・林業事業者作業用具等購入支援事業</p> <p>・実施内容 測量機器導入等 3件</p>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		35,832	19,299	72,239
財源	一般財源 (千円)	100	1,392	468
	国庫支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)	35,732	17,907	71,771
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	707	704	722
①	職員数 (人)	0.1	0.1	0.1
参考	市民一人あたりの費用 (円)		121.4	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	・市内私有林の適切な森林整備の実施に向け、国や北海道の事業の動向を勘案しながら、私有林所有者等の意向など、ニーズに即した事業を実施していく必要がある。	課題	・市内私有林の適切な森林整備の実施に向け、国や北海道の事業の動向を勘案しながら、私有林所有者等の意向など、ニーズに即した事業を実施していく必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	・私有林整備事業については、既存の国・道の事業との差別化を図りつつ、森林組合や森林所有者の意向を踏まえながら、効果的に実施する方法を検討する必要がある。そのほか、私有林整備を支える林業事業者や森林組合への支援を行い、市内私有林の整備を促進する。	今後(令和6年度以降)の方向性	・私有林整備事業については、既存の国・道の事業を踏まえ、きめ細やかに対応し、かつ森林組合や森林所有者の意向を踏まえながら、効果的に実施する方法を検討する必要がある。そのほか、私有林整備を支える林業事業者や森林組合への支援を行い、市内私有林の整備を促進する。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	地域材利用拡大・森林整備推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部農林課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 北海道森林づくり基本計画
目的と概要	森林面積が約10万haと豊富な森林資源を有する「森林都市」であることから、利用期を迎えているこれらの森林資源を地域で積極的に利用することにより、地域産業の振興や、多面的機能を発揮する森林の整備を推進し、森林資源の循環利用を実現する。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		2,458	6,214	22,890
財源	一般財源 (千円)	0	0	0
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)	2,458	6,214	22,890
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	1,413	1,408	1,443
①	職員数 (人)	0.2	0.2	0.2
参考	市民一人あたりの費用 (円)		39.1	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>釧路市では、林業・木材産業・建築業者・建築設計事務所・研究機関など、林業に関する様々な関係者が集い、平成22年11月に「釧路森林資源活用円卓会議」という組織を立ち上げた。この会議において、釧路市有林をはじめとした、市内の森林資源の活用策などについて各種の検討を行ってきたところである。</p> <p>この円卓会議における議論を基にして、この地域の木材の利活用を推進するために「くしろ木づなプロジェクト」と称した、各種取組を進める。</p> <p>1 「川上部門」</p> <ul style="list-style-type: none"> 林業において重要な課題となっている担い手の確保に向けた取組を実施するとともに、森林施業の低コスト化のため、路網整備モデルの検討を進める。 <p>2 「川下部門」</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域材の需要拡大を図るため、公共建築物及び民間建築物等への活用促進に向けた取組や木製品開発の推進を実施する。 <p>3 「普及啓発活動」</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域材利用の推進を図るため、地域内外へ釧路産木材の普及啓発を実施する。 	<p>1 「川上部門」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○低コストな施業の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・川上部会研修 「リモコン刈機の実践」を開催  <p>2 「川下部門」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域材を活用した商品開発の実施【研修会の様子】 <ul style="list-style-type: none"> ・くしろの地域資源を活用した木製品の開発 ・商品企画研究会の開催 ・試作品の開発(新規7点、改良3点、継続8点) ・展示会出展によるアンケート調査 ・地域材の公共建築物への活用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・木製ショーケースの設置(春採生活館) <p>3 「普及啓発部門」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域材を活用した木製品普及活動 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども遊学館主催イベントにて「木づなショーケース」及び「地域材を使用した商品開発成果品」の展示 ・「WOODコレクション(モクコレ)2023」へ出展 ○木育を中心とした市民への普及啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> ・大人向け木育教室(子ども遊学館) ・親子で楽しむ木工   <p>【WOODコレクション(モクコレ)2023】 【木育教室の様子】</p>

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	・木製品の開発やイベント等により釧路産木材の認知度が上がっているなど普及に一定の効果は見られているものの、建築関連での需要拡大や路網整備を軸とした森林施業の低コスト化を進めることが課題となっている。	課題	・木製品の開発やイベント等により釧路産木材の認知度が上がっているなど普及に一定の効果は見られているものの、建築関連での需要拡大や路網整備を軸とした森林施業の低コスト化を進めることが課題となっている。
今後(令和5年度以降)の方向性	・低コストで安全面が確保された効率的な森林施業を推進するため、業界内のスキルアップに向けた取組を引き続き行う。また、地域材を利用した木製品の開発や、住宅及び店舗・事業所など建築物への木材利用を促進し、森林資源の循環利用に繋がる取組を引き続き進めていく。	今後(令和6年度以降)の方向性	・低コストで安全面が確保された効率的な森林施業を推進するため、業界内のスキルアップに向けた取組を引き続き行う。また、地域材を利用した木製品の開発や、住宅及び店舗・事業所など建築物への木材利用を促進し、森林資源の循環利用に繋がる取組を引き続き進めていく。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	増養殖漁業推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	水産港湾空港部水産課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 釧路港湾整備事業に伴う漁業振興対策に関する協議書
目的と概要	近年、釧路市の水産業においてはマツカワやホッキなど多くの主要資源が著しく減少しているため、栽培漁業を推進し、資源の維持・増大を図る必要がある。本事業では、漁業経営の安定と沿岸・内水面資源の回復を目的として増養殖技術の確立や資源調査を各関係漁業協同組合を主体として実施する。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>①ウニ資源増大対策事業 釧路沿岸の重要な根付資源であるウニ資源の増大のため、種苗放流や天然種苗の棲息適地への移植放流を実施する。 (ア) 人工種苗(平均20mmサイズ):50万粒 (イ) 深浅移植:24万粒(20トン)</p> <p>②ホッキ貝資源増大対策事業 釧路沿岸の重要な根付資源であるホッキ貝資源の増大のため、種苗放流を行い、資源量調査を実施する。 (ア) ホッキ放流稚貝10トン</p> <p>③マツカワ資源増大対策事業 沿岸主要資源であるカレイ類の資源減少は著しく、漁家経営を圧迫しているため、種苗放流により、資源増大を図る。 (ア) マツカワ放流尾数:8万尾</p> <p>④ワカサギ等養殖事業 ワカサギ等内水面資源の枯渇防止と遊漁に伴う地域観光の活性化を図るため、内水面資源の養殖事業を実施する。 (ア) ワカサギ卵:7億粒 (イ) ヒメマス稚魚:7万尾 (ウ) コイ稚魚:2千尾 (エ) ニジマス稚魚:8千尾 (オ) アメマス稚魚:1万尾 (カ) ヤマベ稚魚:2万尾 (キ) イトウ稚魚:5千尾</p>	<p>①ウニ資源増大対策事業 7、10月に種苗放流を行った。 (ア) 人工種苗(平均20mmサイズ):35万粒</p> <p>②ホッキ貝資源増大対策事業 5月にホッキ稚貝の測定・放流を行い、12月には資源量調査を実施した。釧路海域の成員の推定資源量は4,500トンであった。 (ア) ホッキ放流稚貝:5.5トン</p> <p>③マツカワ資源増大対策事業 釧路管内栽培漁業推進協議会が8月にマツカワ種苗の放流を実施した。 (ア) マツカワ放流尾数:8万尾</p> <p>④ワカサギ等養殖事業 阿寒湖周辺水域にて放流を行い、内水面主要種の養殖事業を実施。 (ア) ワカサギ卵:7億1560万粒 (イ) ヒメマス稚魚:6万7千尾 (ウ) コイ稚魚:0尾 (エ) ニジマス稚魚:8千尾 (オ) アメマス稚魚:1万尾 (カ) ヤマベ稚魚:1万7千尾 (キ) イトウ稚魚:0尾 (ク) ヒメマス卵:4万粒</p>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費	総額 (千円)	8,675	6,471	7,695
財源	一般財源 (千円)	7,275	4,971	995
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)	1,400	1,500	6,700
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	3,534	3,520	3,608
①	職員数 (人)	0.5	0.5	0.5
参考	市民一人あたりの費用 (円)		40.7	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		9.4	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持	
課題	・ 海況等により資源量は毎年変化するため、安定的な種苗等の確保が必要である。	課題	・ 海況等により資源量は毎年変化するため、安定的な種苗等の確保が必要である。
今後(令和5年度以降)の方向性	・ 漁業資源が減少しており、つくり育てる漁業の推進を図ることが重要である。漁業者及び試験研究機関等との連携を図り、今後も事業を継続していくことが必要である。	今後(令和6年度以降)の方向性	・ 漁業資源が減少しており、つくり育てる漁業の推進を図ることが重要である。漁業者及び試験研究機関等との連携を図り、今後も事業を継続していくことが必要である。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	シシャモふ化事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	水産港湾空港部水産課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 釧路港湾整備事業に伴う漁業振興対策に関する協議書
目的と概要	釧路の水産業において、主要資源の一翼を担っているシシャモは年々資源が減少し、漁家経営の悪化を招いていることから、栽培漁業の取組を進め、資源の維持・増大を図っていく必要がある。専門機関の協力のもと増養殖技術を確立し、ふ化事業を効率的に展開することにより、シシャモ資源の回復と漁家経営の安定化を図る。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
①シシャモふ化事業 シシャモこぎ網漁業は地元沿岸漁業の主たる漁業であることから、受精卵管理や孵化・放流を実施することで、資源の維持・増大を図る。 (ア)ふ化放流4,830万尾、収容卵数3億粒(庶路川ふ化場)	①シシャモふ化事業 4月に前年度収容した受精卵の管理・稚魚の放流を行った。また、11月にシシャモ親魚の捕獲・収容を実施した。 (ア)ふ化放流4,830万尾、収容卵数1,330万粒(庶路川ふ化場) 収容予定卵数に達するまでの親魚の捕獲ができなかったため、収容卵数が予定数量を下回った。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">選別・収容作業</p>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		964	895	3,000
財源	一般財源 (千円)	964	895	0
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			3,000
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			

【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	707	704	722
①	職員数 (人)	0.1	0.1	0.1
参考	市民一人あたりの費用 (円)		5.6	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	

注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果					
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table style="display: inline-table; border: 1px solid black;"> <tr> <td style="border: 1px solid black;">評価</td> <td style="border: 1px solid black;">継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持	該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table style="display: inline-table; border: 1px solid black;"> <tr> <td style="border: 1px solid black;">評価</td> <td style="border: 1px solid black;">継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持
評価	継続維持						
評価	継続維持						
課題	<ul style="list-style-type: none"> 親魚不足により収容卵数が予定より下回ったため、試験研究機関等と漁期前調査を引き続き実施して、親魚の安定的な確保を図る必要がある。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 親魚不足により収容卵数が予定より下回ったため、試験研究機関等と漁期前調査を引き続き実施して、親魚の安定的な確保を図る必要がある。 				
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> シシャモ資源は減少傾向にあり、増養殖事業が重要となっているため、今後も漁業者及び試験研究機関等との連携を図り、海況等の変化に対応した親魚捕獲や放流を実施する。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> シシャモ資源は減少傾向にあり、増養殖事業が重要となっているため、今後も漁業者及び試験研究機関等との連携を図り、海況等の変化に対応した親魚捕獲や放流を実施する。 				

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	沖合資源増大実験事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	水産港湾空港部水産課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 釧路港湾整備事業に伴う漁業振興対策に関する協議書
目的と概要	沿岸・沖合共通魚種であるハタハタ等の種苗生産・中間育成放流などを実施し、道東沖合漁業資源の増大を図り、漁家経営の安定化を推進するとともに、底曳網漁業者の資源管理に対する意識改革を推進する。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>○沖合資源増大対策事業 沖合資源の安定的な生産体制の確立を目指し、対象魚種の資源増大事業を実施することで、資源の増大を図る。</p> <p>・ハタハタ受精卵の確保 次年度に放流する受精卵の確保 確保数：40万粒</p>	<p>○沖合資源増大対策事業 ハタハタ受精卵を確保し、次年度放流に向け育成した。</p> <p>(ア)ハタハタ受精卵の確保、育成 確保、育成数：20万粒</p> <p>(イ)その他 ・ハタハタ受精卵確保先の拡充に向けての協議 ・他魚種の人工授精・放流の調査研究</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>受精卵</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>海中設置</p> </div> </div>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		2,400	2,400	2,400
財源	一般財源 (千円)	0	0	0
	国庫支出金 (千円)			
	地方債 (千円)	2,400	2,400	2,400
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	707	704	722
①	職員数 (人)	0.1	0.1	0.1
参考	市民一人あたりの費用 (円)		15.1	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		15.1	

注1) 釧路市民の人口 159,014 人 (R5.3末現在)
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	・不漁等により種苗生産のための卵の確保が不安定なため、放流種苗の安定的な確保が望まれる。	課題	・不漁等により種苗生産のための卵の確保が不安定なため、放流種苗を安定して確保する必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	・漁業資源が減少しており、つくり育てる漁業の推進を図ることが重要である。漁業者及び試験研究機関等との連携を図り、今後も事業を継続していく必要がある。	今後(令和6年度以降)の方向性	・漁業資源が減少しており、つくり育てる漁業の推進を図ることが重要である。漁業者及び試験研究機関等との連携を図り、今後も事業を継続していく必要がある。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	コンブ漁場整備事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	水産港湾空港部水産課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 水産基盤整備事業(農林水産省)
目的と概要	釧路東部海域に広がるコンブ漁場は、近年、流水の接岸が無くなる等の海洋環境の変化から、コンブ漁場にヒバ類などの小型雑海藻が大量に繁茂し、コンブ漁獲量の減少により漁家経営の逼迫を招いている。このため、生産力の低下が著しい漁場において、国庫補助事業による大規模かつ効率的な雑海藻除去を行うことによりコンブ漁場の資源回復、生産力の向上を推進し、漁家経営の安定化を図る。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>①水産環境整備事業(国庫補助事業) コンブの発生・生育を阻害する雑海藻を大型駆除機械により岩盤から除去し、コンブ漁場の機能回復を図る。</p> <p>(ア)工事費 : 20,000千円 (イ)除去面積 : 40,000㎡ (ウ)施工場所 : 桂恋地先 (エ)施工前の雑海藻量 雑海藻着生重量(平均) : 3,561.0g/㎡【写真1】</p> <p>②雑海藻除去効果調査 雑海藻除去前と除去後の有用コンブ類や雑海藻の着生状況を調査し、コンブ資源量を把握する。 《調査実施機関及び指導機関》 釧路市東部漁業協同組合、釧路地区水産技術普及指導所、釧路市</p>	<p>①水産環境整備事業(国庫補助事業) 雑海藻が繁茂し、荒廃しているコンブ漁場において、大型駆除機械により雑海藻除去を実施した。</p> <p>(ア)工事費 : 17,710千円 (イ)除去面積 : 40,000㎡ (ウ)施工場所 : 桂恋地先 (エ)施工後の雑海藻量 雑海藻着生重量 : 200g/㎡以下【写真2】 (調査点16点)</p> <p>②雑海藻除去効果調査 除去予定箇所、過年度雑海藻除去箇所において、潜水により、1㎡の海藻採取調査、海藻繁茂状況を観察した。 ◎R2年度除去実施場所 : 益浦・興津地先 2年ナガコンブ平均着生量 : 58.6本/㎡、11,307.2g/㎡【写真3】</p>
<p>【全体計画期間】 令和4年度～令和7年度</p> <p>・事業主体 釧路市</p> <p>・工事種目 底質改善(雑海藻除去)</p> <p>・計画数量及び施工場所 全体 160,000㎡ R4 桂恋地先 40,000㎡ R5 知人地先 40,000㎡ R6 興津地先 40,000㎡ R7 未定 40,000㎡</p>	
<p>※ナガコンブの漁獲対象は主に2年目のものであるため、除去後2年目の漁期前に調査を実施している。</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【写真1】</p>  <p>雑海藻が繁茂 R4年度実施箇所 (桂恋地先)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【写真2】</p>  <p>コンブ着床面の確保 R4年度実施箇所 (桂恋地先)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【写真3】</p>  <p>コンブ漁場の回復 R2効果調査 (益浦・興津地先)</p> </div> </div>	

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		17,622	17,736	20,027
財源	一般財源 (千円)	22	54	27
	国道支出金 (千円)	8,800	8,855	10,000
	地方債 (千円)	4,400	4,400	5,000
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)	4,400	4,427	5,000
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	10,601	10,560	10,823
①	職員数 (人)	1.5	1.5	1.5
参考	市民一人あたりの費用 (円)		111.5	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		27.7	
注1) 釧路市の人口 159,014人(R5.3未現在)				
注2) 市民一人あたりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等


令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
<p>該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持</p>		<p>該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持</p>	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 雑海藻除去によりコンブ漁場が回復するが、時間経過とともに雑海藻が増加するため、定期的に雑海藻除去を行う必要がある。 近年の海況等を考慮し、適切な施工区や施工時期などを設定する。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 雑海藻除去によりコンブ漁場が回復するが、時間経過とともに雑海藻が増加するため、定期的に雑海藻除去を行う必要がある。 近年の海況等を考慮し、適切な施工区や施工時期などを設定する。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 本事業は、新たに令和4年度から令和7年度までの計画を策定しており、事業の継続を予定している。 指導所や漁協と情報共有し、漁場環境の把握に努める。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 本事業は、令和4年度から令和7年度までの計画に基づき事業の継続を予定している。 指導所や漁協と情報共有し、漁場環境の把握に努める。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	雑海藻駆除事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	水産港湾空港部水産課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 釧路港湾整備事業に伴う漁業振興対策に係る協議書
目的と概要	釧路東部海域に広がるコンブ漁場は、近年、流水の接岸が無くなるなどの海洋環境の変化から、漁場の荒廃化が進んでいる。コンブ漁場の回復を図るため、国庫補助事業による雑海藻駆除を実施しているが、海域特性としてこの事業では実施できない小規模漁場が点在する。 漁業経営の安定を図るためには、海域全体の資源回復が重要であることから、これらの小規模漁場の雑海藻駆除を実施し、コンブ漁場の機能回復及び資源増大を図る。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>①雑海藻駆除事業(補助金による支援) 荒廃しているコンブ漁場において、コンブの発生・生育を阻害する雑海藻を岩盤から除去する雑海藻駆除(底質改善)を行う。本事業は、市の補助により、釧路市東部漁業協同組合が事業主体として実施する。</p> <p>(ア)事業費 : 18,000千円 (イ)補助金 : 9,000千円 (ウ)駆除面積 : 60,000㎡ (エ)施工場所 知人、弁天ヶ浜、興津、益浦、三津浦地先</p>	<p>①雑海藻駆除事業(補助金による支援) 雑海藻が繁茂し、海域の特性上、国庫補助事業で実施できない小規模漁場において、大型駆除機械による雑海藻駆除(底質改善)を実施した。</p> <p>(ア)事業費 : 24,517千円 (イ)補助金 : 9,000千円 (ウ)駆除面積 : 76,000㎡ (エ)施工場所 知人、弁天ヶ浜、興津、益浦、三津浦地先</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【写真1】 底質改善前</p>  <p>雑海藻が繁茂</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【写真2】 底質改善後</p>  <p>コンブ着床面の確保</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>【写真3】 底質改善後2年</p>  <p>コンブ漁場の回復</p> </div>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		8,738	9,000	9,000
財源	一般財源 (千円)	38	6,000	0
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)	5,700	0	6,000
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
		3,000	3,000	3,000
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	707	704	722
①	職員数 (人)	0.1	0.1	0.1
参考	市民一人あたりの費用 (円)		56.6	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 雑海藻駆除によりコンブ漁場が回復するが、時間経過とともに雑海藻が増加するため、定期的に雑海藻駆除を行う必要がある。 近年の海況等を考慮し、適切な施工区や施工時期などを設定する。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 雑海藻駆除によりコンブ漁場が回復するが、時間経過とともに雑海藻が増加するため、定期的に雑海藻駆除を行う必要がある。 近年の海況等を考慮し、適切な施工区や施工時期などを設定する。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> コンブ漁業経営の安定のため、今後も継続して事業を実施していく必要がある。 指導所や漁協と情報共有し、漁場環境の把握に努める。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> コンブ漁業経営の安定のため、今後も継続して事業を実施していく必要がある。 指導所や漁協と情報共有し、漁場環境の把握に努める。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	ヒトデ駆除事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	水産港湾空港部水産課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・しごと創生総合戦略 釧路港湾整備事業に伴う漁業振興対策に関する協議書
目的と概要	従来よりカレイ刺し網やつぶ籠漁などの沿岸漁業においては、ヒトデによる資源の捕食や漁具の破損が報告されており、本事業ではヒトデ除去を行い、漁業の再活性化と資源保護を図る。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>釧路市漁業協同組合、釧路市東部漁業協同組合が事業主体となって行う駆除事業を支援する。</p> <p>①釧路市漁業協同組合 ・駆除目標数量:11トン ・対象海域:釧路市沿岸海域にて実施</p> <p>②釧路市東部漁業協同組合 ・駆除目標数:5トン ・対象海域:釧路沿岸海域にて実施</p>	<p>①釧路市漁業協同組合 ・駆除数量:0トン ・カレイ刺し網やつぶ籠漁などの漁場である駆除実施箇所にはヒトデが存在しなかったため。</p> <p>②釧路市東部漁業協同組合 ・駆除数量:0トン ・カレイ刺し網やつぶ籠漁などの漁場である駆除実施箇所にはヒトデが存在しなかったため。</p>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		30	0	180
財源	一般財源 (千円)	30	0	180
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	707	704	722
①	職員数 (人)	0.1	0.1	0.1
参考	市民一人あたりの費用 (円)		0.0	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	・ 漁場が広域であるため、単年度では全域を対象にできない。	課題	・ 漁場が広域であるため、単年度では全域を対象にできない。
今後(令和5年度以降)の方向性	・ ヒトデによる被害は継続して見られることから、沿岸漁業資源の維持・増大のため、今後も事業を継続し、ヒトデの増殖を抑制していく必要がある。	今後(令和6年度以降)の方向性	・ 駆除実施箇所以外でのヒトデによる被害は継続して見られることから、沿岸漁業資源の維持・増大のため、今後も事業を継続し、ヒトデの増殖を抑制していく必要がある。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	漁業後継者就職支援事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	水産港湾空港部水産課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	漁業後継者問題の対策として、青年漁業者の就業促進を図るため、漁業関連資格等の取得や新規漁業就業者につながる北海道立漁業研修所への就学を支援することにより、時代の漁業の担い手の確保と育成を目指す。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
釧路市漁業後継者就職支援事業補助金 ◎当初計画 331,000円 【事業概要】 漁業への就業促進を図るため、漁業技術の習得及び知識の向上を図るための研修並びに漁業を営むために必要な資格取得に関し、補助金を交付する。 <補助対象者> 市内に住所を有する50歳未満の漁業従事者又は新規漁業就業者 <補助の種類と補助金額> (1)漁業関連資格取得への支援 漁業関連資格を取得した者に対し、補助対象経費の2分の1以内の補助金を交付する。(限度額5万円) ・1級小型船舶操縦士 ・2級小型船舶操縦士 ・第2級海上特殊無線技士 ・潜水士 (2)漁業研修所への就学支援 北海道立漁業研修所の総合研修を終了した者に対し、25万円の補助金を交付する。	◎補助実績 : 1件 50,000円 (1)漁業関連資格取得への支援 ・2級小型船舶操縦士 1件 (2)漁業研修所への就学支援 ・実績なし

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		0	50	131
財源	一般財源 (千円)	0	50	131
	国庫支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	707	704	722
①	職員数 (人)	0.1	0.1	0.1
参考	市民一人あたりの費用 (円)		0.3	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等



令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持	
課題	・今年度の補助実績がないことから、当該事業の周知方法と支援内容の検討が必要。	課題	・資格取得や研修所への就学支援のほか、漁業者の就業促進に繋がる取組みに対する支援内容の検討を漁協と協議し進めていく必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	・当市の基幹産業である漁業の次代の担い手の確保・育成を図るため、今後も継続した支援が必要である。	今後(令和6年度以降)の方向性	・当市の水産業が持続的に発展していくためには、次代の漁業の担い手の確保・育成が重要であるため、今後も継続的な支援が必要である。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	漁業被害支援事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	水産港湾空港部水産課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	国際バルク戦略港湾の完成により大型船が増加し、待機のため釧路港沖に錨泊する船舶による漁具被害が発生しているが、原因者の特定が難しく漁業者の負担となっていることから、漁業被害の補填をすることにより、沿岸漁業経営の安定等を図る。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
漁業被害支援事業補助金 当初計画 500,000円 【事業概要】 釧路港漁具被害対策協議会に対し、補助金を交付する。 釧路港漁具被害対策協議会の事業概要 (1)釧路港に入出港する船舶による原因不明の漁業被害に対する救済金の給付に関する事業 (2)釧路港に入出港する船舶の航行と漁業操業の安全確保を図るための啓発、情報連絡等に関する事業 ○補助対象者 釧路市漁業協同組合、釧路市東部漁業協同組合の漁業者（砂つぶ籠漁業、かに籠漁業及び真かれい刺網漁業） ○補助対象漁具 砂つぶ籠漁業、かに籠漁業及び真かれい刺網漁業の漁具（ボンデン、かご）	漁業被害支援事業 実績額 500,000円 ◎釧路港漁具被害対策協議会の事業実績 (1)釧路港に入出港する船舶による原因不明者の漁業被害に対する救済金の給付に関する事業 18件 417,142円
	
ボンデン	かご

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		500	500	500
財源	一般財源 (千円)	500	500	500
	国庫支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	707	704	722
①	職員数 (人)	0.1	0.1	0.1
参考	市民一人あたりの費用 (円)		3.1	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等


令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果					
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <tr> <td>評価</td> <td>継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持	該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <tr> <td>評価</td> <td>継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持
評価	継続維持						
評価	継続維持						
課題	<ul style="list-style-type: none"> 漁具の設置場所が随時更新となるため、船舶に対して周知が難しい。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 原因者不明の漁具被害に対する他の救済制度がない。 				
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 漁業者には、漁具被害の補填により負担が軽減されるため、今後も継続した支援が必要である。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 釧路港及び釧路海域は、外来船が航行、錨泊するため、今後も継続した支援が必要である。 				

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	コンブ漁業効率化推進事業<当初><12月補正>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	水産港湾空港部水産課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	釧路市東部漁業協同組合では釧路東部沿岸部の優良な昆布藻場を活用し、大部分の漁業者がコンブ漁に着業している。ここ数年、水産物の水揚げが全体的に落ちている中、コンブ漁は安定的に水揚げ量・金額がある主力漁獲物であり、漁業者の生活基盤を支えている。 重労働であるコンブ漁業では、漁業者の高齢化、後継者不足などの問題があることから、施設整備や機械化を進め、軽作業化や作業効率を改善することで、高齢者でも働ける環境や若者が着業しやすい労働環境を整備する。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>○コンブ漁業効率化推進事業(補助金による支援) 昆布乾燥機内自動吊上げ機を導入することで高齢者や女性でも働きやすい就労環境を作り出すとともに、作業効率を改善することで安全安心な生産体制の確立を図る。</p> <p>事業主体 : 釧路市東部漁業協同組合</p> <p>総事業費 : 8,800千円</p> <p>補助金 : 6,000千円</p> <p>導入台数 : 5台</p> <p>【全体計画期間】 導入台数 : 令和3年度 5台 令和4年度 5台 令和5年度 5台 計15台</p>	<p>○コンブ漁業効率化推進事業(補助金による支援)</p> <p>総事業費 : 8,800千円</p> <p>補助金 : 6,000千円</p> <p>導入台数 : 5台</p> <div style="text-align: center;">  <p>倉庫に設置された昆布乾燥機内自動吊上げ機</p> </div>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		5,432	6,000	2,000
財源	一般財源 (千円)	1,832	2,000	2,000
	国庫支出金 (千円)	3,600	4,000	
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	707	704	722
①	職員数 (人)	0.1	0.1	0.1
参考	市民一人あたりの費用 (円)		37.7	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 漁業就業者の高齢化などに伴う人手不足の解消や就労環境の改善を行う必要がある。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、漁業就業者の高齢化などに伴う人手不足の解消や就労環境の改善等効率化に向けて漁協と協議しながら支援を検討する必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 本事業は令和5年度までの計画であり、引き続き、漁業協同組合と情報共有を行い、安全安心な生産体制を確立するための事業を検討する。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 本事業は令和5年度までの計画であり、引き続き、漁業協同組合と情報共有を行い、安全安心な生産体制を確立するための事業を検討する。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	水産加工業活性化支援事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	水産港湾空港部水産課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	釧路市水産加工振興センターにて、水産加工製品の開発及び市内水産加工従事者の加工技術・知識向上を図るとともに、道内外における釧路産水産物の販路拡大を支援し、市内水産加工業の振興を図る。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		423	247	723
財源	一般財源 (千円)	423	247	723
	国支支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	707	704	722
①	職員数 (人)	0.1	0.1	0.1
参考	市民一人あたりの費用 (円)		1.6	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1) 年度当初計画	(2) 事業の実績と成果
<p>①商品開発事業 地場産魚種を活用した付加価値の高い製品開発を実施する。 (試作品開発予定件数: 10件)</p> <p>②需要開拓事業 道内外で行われる各種フェア、商談会、催事に参加し、釧路産水産加工品のPRを実施する。 (催事参加予定回数: 4回)</p> <p>③人材育成事業 釧路水産加工振興協議会と連携し、加工技術や食品衛生等に関する講習会・研修会等を開催し、人材育成を図る。 (セミナー等開催予定回数: 2回)</p>	<p>①商品開発事業 試作品開発件数: 9件 釧路で水揚げされる魚(ソウハチガレイ、ニシン、ブリなど)を原料とした加工品の開発を実施した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>【写真①】ソウハチガレイの山漬 【写真②】ブリのオイル漬</p> <p>②需要開拓事業 催事参加回数: 5回 釧路水産加工振興協議会や釧路市水産業対策協議会が行う魚食普及イベントにて、釧路産水産加工品の販売PRや水産加工振興センター開発品の試食提供を実施した。(釧路市: 4回、札幌市: 1回)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>【写真③】青空マーケット(釧路) 【写真④】JP01まつり(札幌)</p> <p>③人材育成事業 ・講演会開催: 1回(18名参加) 微生物検査や賞味期限設定に関する食品微生物研修会を開催した。 ・市民向け講習会等の開催: 3回(延69名参加) 釧路産ホッケの天ぷら蒲鉾、釧路産イワシの水煮缶作りの加工体験教室及び秋鮭の飯寿司作り講習会を開催した。</p>

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> コロナ後のマーケット状況に対応した商品開発の実施 国内外への販路開拓の促進 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 商品開発に対する企業ニーズの掘り起こしを強化する必要がある。 販路開拓に対する企業の積極的参加が少ないため、PRの拡大に努める必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 消費者ニーズを把握し、企業と連携した商品開発を行う。 販路の拡大・安定を図るため、道内外で開催される催事等に積極的に参加し、水産加工品の普及宣伝活動を行う。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 企業ニーズに沿った共同開発を行い、商品化に繋げる。 加工振興協議会と連携を図り、道内外で開催される商談会や催事等への企業の積極的な参加を促す。



令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	くしろプライド鯛魚(センギョ)事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	水産港湾空港部水産課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	本市は、多様な水産物の水揚げがあるものの、地域住民には釧路で漁獲される魚や旬の時期があまり理解されていない状況にある。 そのため、SNSやラジオ、ホームページにより、釧路で水揚げされる「水産物」や「旬の時期」、「美味しい食べ方」などの情報発信を行うとともに、生産者や小売・飲食店等と連携し、月ごとのプライド鯛魚の試食販売やパンフレット・チラシの配布等を行うことで、旬産旬消による魚食普及を推進する。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		500	500	500
財源	一般財源 (千円)	500	500	500
	国庫支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	9,894	9,856	10,101
①	職員数 (人)	1.4	1.4	1.4
参考	市民一人あたりの費用 (円)		3.1	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>①各種PRグッズの作成、配布</p> <p>②イベントでのPR実施 プライド鯛魚の域内外への定着を図るため、地元小売店や各種団体の協力のもと、イベントでのPRを実施する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">【画像①】 【画像②】</p>	<p>PRグッズを作成し、小売店・飲食店、公共施設等へ配布したほか、各種イベントにおいて掲示・配布を行った。</p> <p>◎配布部数 ・くしろプライド鯛魚食べられるお店買えるお店マップ 6,165部 ・くしろプライド鯛魚レシピチラシ 3,150枚</p> <p>各種イベントに参加し、プライド鯛魚の掲示やパンフレット・チラシ等の配布を行うほか、試食販売を行い、プライド鯛魚のPR並びに旬産旬消を促す魚食普及事業を実施した。</p> <p>◎参加イベント (1)みはら青空マーケット(元あいちょう美原店前)【画像①】 (2)鯨肉普及キャンペーン(釧路和商市場) (3)くしろ物産まつり(釧路市観光国際交流センター) (4)釧路市東部漁業協同組合 年末直売市 (5)卸売りスーパーあいちょう芦野店【画像②】</p>
<p>③SNSやラジオ、ホームページによる情報</p>	<p>SNS(インスタグラム)やホームページにて、イベント案内や月ごとのプライド鯛魚を使った料理の紹介等を行った。 また、漁業協同組合協力のもと、FMくしろの番組に毎月出演し、月ごとの旬のプライド鯛魚をPRすることにより、市民の旬産旬消を推進した。</p>
<p>④その他 ・令和4年度版 郷土読本「くしろ」への掲載 ・ふるさと納税でのPR</p> <div style="text-align: center;">  <p>【インスタグラムQRコード】</p> </div>	<p>◎令和4年度版 郷土読本「くしろ」への掲載 市内小学生3～6学年に配布される小学校社会科郷土読本「くしろ」におけるくしろプライド鯛魚事業の掲載。 ◎ふるさと納税でのPR ふるさと納税サイトやパンフレット内でプライド鯛魚事業やホームページ、SNSをPRした。</p>

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見直し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 域内におけるプライド鯛魚の認知度の向上 飲食店・小売店との連携の強化 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 域内においてプライド鯛魚の認知度の向上を図る必要がある。 飲食店・小売店との連携を強化していく必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 各種イベントにおけるプライド鯛魚のPRの実施 小売店の鮮魚売場での試食提供など、小売・飲食店と連携したPRを実施 域内に対し、プライド鯛魚を浸透させる仕組み(対象魚種・旬の時期の見直し等を含む)の検討と実施 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 各種イベントにおいてプライド鯛魚のPRを実施する。 小売店の鮮魚売場での試食提供など、小売・飲食店と連携したPRを実施する。 域内に対し、プライド鯛魚を浸透させるための仕組み(対象魚種・旬の時期の見直し等を含む)を検討し実施につなげる。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	漁業振興設備導入事業<当初><12月補正>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	水産港湾空港部水産課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
目的と概要	地元魚の消費減少と原魚の不足により、漁業者・加工業者等の経営は厳しい状況である。このことから、新たな魚種として沖合底曳網漁業で漁獲され、低利用魚種であるクロハモを有効活用するため骨切り機を導入し、新たな加工品開発の促進と流通・消費の拡大、魚価の向上を図る。

2 当初計画と実績・コスト・成果

<p>(1)年度当初計画</p> <p>○低利用魚種であるクロハモを有効活用するため骨切り機を導入し、新たな加工品開発の促進と流通・消費の拡大、魚価の向上を図る。</p> <p>事業主体 釧路機船漁業協同組合 総事業費 5,250,000円 補助金額 1,313,000円 導入機器 骨切り機 1台</p>	<p>(2)事業の実績と成果</p> <p>○クロハモ加工用機器の導入に対し、補助金を交付した。</p> <p>総事業費 5,775,000円 補助対象経費 5,250,000円 うち市補助金 1,312,500円 うち道補助金 2,600,000円</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
--	---

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		0	3,913	0
財源	一般財源 (千円)	0	1,313	0
	国道支出金 (千円)		2,600	
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	0	704	0
①	職員数 (人)	0.0	0.1	0.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		24.6	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="text" value="評価"/>		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="text" value="評価"/> <input type="text" value="終了"/>	
課題	令和4年度からの新規事業のため、空欄となります。	課題	
今後(令和5年度以降)の方向性	令和4年度からの新規事業のため、空欄となります。	今後(令和6年度以降)の方向性	・単年度事業のため、事業終了

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	赤潮対策支援事業<当初><6月補正><12月補正><2月補正>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	水産港湾空港部水産課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	令和3年9月中旬以降に北海道太平洋沿岸で発生した赤潮の影響による漁業被害等の対策支援事業として、同年12月20日に成立した国の補助事業「北海道赤潮対策緊急支援事業」を活用した支援及び釧路市独自の支援を行うもの。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		7,795	14,692	0
財源	一般財源 (千円)	7,795	14,692	0
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	707	704	722
①	職員数 (人)	0.1	0.1	0.1
参考	市民一人あたりの費用 (円)		92.4	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3未現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>①釧路市養殖事業調査研究協議会 海域環境に依存しない安定的な供給を目指し、高品質な水産物を生産するため実施する養殖の調査研究に対する補助。 支援対象 釧路市養殖事業調査研究協議会 補助金額 8,000千円<当初予算> (1)協議会開催 設立総会及び6回開催 (2)海面養殖 ギンザケ養殖(実証実験)の実施 (3)先進事例調査 岩手県久慈市(ギンザケ海面養殖) 等 (4)養殖事業の講演会の開催 (5)養殖事業化の可能性検討</p> <p>②北海道赤潮対策支援事業 令和3年9月、北海道太平洋沿岸で発生した赤潮により、水産庁の補助事業「北海道赤潮対策支援事業」を活用した令和4年度事業 支援対象 釧路市東部漁業協同組合 支援金額 2,744千円 総事業費18,288千円の15%(釧路市負担) <6月補正> 6,210千円 総事業費41,398千円の15%(釧路市負担) <12月補正> 1,462千円 総事業費 9,746千円の15%(釧路市負担) <2月補正></p> <p>支援内容 ウニ種苗購入放流(ウニ種苗購入費を含む)、 へい死状況調査 等 <6月補正> ウニ種苗購入放流(ウニ種苗購入費を含む)、 岩盤清掃、潜水等調査 <12月補正> 漁場環境状況調査(高度な調査) <2月補正></p> <p>③ふるさと納税北海道代理受領分 北海道が代理で募集した赤潮被害への支援を目的としたふるさと納税の寄附金を赤潮被害のあった漁協へ補助 支援金額 3,098千円(1,549千円×2漁協)<6月補正> ・釧路市漁業協同組合 沿岸漁場調査費用 ・釧路市東部漁業協同組合 天然のウニ種苗購入経費</p>	<p>①釧路市養殖事業調査研究協議会 海域環境に依存しない安定的な供給を目指し、高品質な水産物を生産するため実施する養殖の調査研究に対する補助。 支援対象 釧路市養殖事業調査研究協議会 補助金額 2,528千円 (1)協議会開催 設立総会及び6回開催 (2)海面養殖 ギンザケ養殖(実証実験)の実施 (3)先進事例調査 岩手県久慈市(ギンザケ海面養殖) 等 (4)養殖事業の講演会の開催 (5)養殖事業化の可能性検討</p> <p>②北海道赤潮対策支援事業 令和3年9月、北海道太平洋沿岸で発生した赤潮により、水産庁の補助事業「北海道赤潮対策支援事業」を活用した令和4年度事業 支援対象 釧路市東部漁業協同組合 支援金額 1,959千円 総事業費13,054千円の15%(釧路市負担) <6月補正> 5,913千円 総事業費39,416千円の15%(釧路市負担) <12月補正> 1,197千円 総事業費 7,974千円の15%(釧路市負担) <2月補正></p> <p>支援内容 ウニ種苗購入放流(ウニ種苗購入費を含む)、 へい死状況調査 等 <6月補正> ウニ種苗購入放流(ウニ種苗購入費を含む)、 岩盤清掃、潜水等調査 <12月補正> 漁場環境状況調査(高度な調査) <2月補正></p> <p>③ふるさと納税北海道代理受領分 北海道が代理で募集した赤潮被害への支援を目的としたふるさと納税の寄附金を赤潮被害のあった漁協へ補助 支援金額 3,098千円(1,549千円×2漁協) ・釧路市漁業協同組合 沿岸漁場調査費用 ・釧路市東部漁業協同組合 天然のウニ種苗購入経費</p>

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	・赤潮対策は、国の補助事業「北海道赤潮対策緊急支援事業」の支援が令和4年度までであり、令和5年度以降も継続した支援が必要である。	課題	・赤潮対策は、国の補助事業「北海道赤潮対策緊急支援事業」の支援が現在のところ令和5年度までであり、令和6年度以降も継続した支援が必要である。
今後(令和5年度以降)の方向性	・赤潮対策は、国の補助事業「北海道赤潮対策緊急支援事業」が令和5年度以降も継続した際は、釧路市も支援をしていくこととなる。	今後(令和6年度以降)の方向性	・赤潮対策は、国の補助事業「北海道赤潮対策緊急支援事業」が令和6年度以降も継続した際は、釧路市も支援をしていくこととなる。




令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	くじらのまちづくり推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	水産港湾空港部水産課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	鯨文化の振興・発展と鯨食普及を図り「くじらのまちづくり」を進める。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		1,251	1,450	1,757
財源	一般財源 (千円)	551	450	757
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)	700	1,000	1,000
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	7,067	7,040	7,215
①	職員数 (人)	1.0	1.0	1.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		9.1	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		6.3	
注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>○鯨文化啓発事業 釧路くじら協議会への補助金・負担金の支出</p> <p>・くじら月間イベントなどの開催</p> <p>・釧路沖での捕鯨操業への支援</p> <p>・全国鯨フォーラムへの参加</p> <p>・学校給食で提供する鯨肉購入代金の一部負担</p>	<p>○鯨文化啓発事業 補助金:1,000千円(くじら月間イベント等開催) 負担金:450千円(学校給食への鯨肉購入代金の一部負担)</p> <p>◎鯨文化啓発事業実績 ・「第13回釧路くじら祭り〜くしろの鯨 味めぐり〜」の開催 (市内全域の飲食店35店舗で、500円(税込550円)の「くじら祭り特別メニュー」の提供をはじめ、鯨料理を食べた方を対象に、抽選で鯨関連商品を贈呈) ※応募総数(有効件数)908件</p> <p>・鯨肉普及キャンペーンの実施 (くじらのそぼろ215食の無料提供)</p> <p>・第51回くしろ物産まつりでの提供 (くじらのコンフィ483食の無料提供)</p> <p>・釧路沖での捕鯨操業への支援 (釧路港での水揚げ及び休養における利便性の向上)</p> <p>・全国鯨フォーラムへの参加 新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p> <p>・学校給食で提供する鯨肉購入代金の一部負担 市内小中学校などで鯨肉を使用したメニューを提供 (くじら味噌ちゃんこ汁など)</p>
	   <p>鯨肉普及キャンペーン くじら祭り くじらのコンフィ (物産まつり配布)</p>

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・釧路の鯨文化の継承・存続のため、消費拡大に向けたイベントの実施や全国の市町村との連携強化と情報交換が必要である。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・釧路の鯨文化の継承・存続のため、鯨肉の消費拡大に向けたイベントの実施や全国の市町村との連携を強化し、鯨のまち釧路の知名度を高める取り組みが必要である。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・釧路沖での捕鯨操業時における安全確保の要請活動の実施。 ・鯨肉消費拡大に向けたイベントを継続して実施し、鯨の食文化の継承・存続を図る。 ・「全国鯨フォーラム」を通して全国の自治体との連携強化を図る。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・釧路沖での捕鯨操業時における受け入れ体制を確保する。 ・鯨肉消費拡大に向けたイベントを継続して実施し、鯨の食文化の継承・存続を図る。 ・捕鯨文化・鯨食文化の普及活動を通じて、全国の自治体との連携強化を図る。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	産炭地振興事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部産業推進室
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 釧路地域産炭地振興協議会事業計画 釧路市石炭産業対策協議会事業計画
目的と概要	国等関係機関に対する要望活動や講演会の開催等を通して、石炭産業の安定・存続と、それに伴う産炭地域の振興と石炭産業の活性化を図る。また、釧路炭鉱の坑内の保安確保及び坑道開発に伴う坑内採炭に必要な設備機器の設置等に対する補助や、新たな事業に対する補助を行うことにより、石炭鉱業の安全操業、炭鉱経営の安定を図る。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		31,372	31,469	32,835
財源	一般財源 (千円)	31,372	31,469	32,835
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	8,480	8,448	8,658
①	職員数 (人)	1.2	1.2	1.2
参考	市民一人あたりの費用 (円)		197.9	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>①石炭産業の振興に向けた要望活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ●海外産炭国への炭鉱技術研修事業の継続 <ul style="list-style-type: none"> ア. 国等関係機関に対する要望活動 イ. 北海道石炭対策連絡会議との要望活動 ②石炭に関連する啓発事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> 石炭の重要性を広く認識してもらうため制定されたクリーン・コール・デーに合わせて、博物館との共催により、市民に石炭や国内唯一の坑内掘採行炭鉱で行われる炭鉱技術研修等について解説する石炭基礎講座を開催するとともに、石炭エネルギーのあり方等について考えてもらうことを目的とした石炭セミナーを開催する。 	<p>①石炭産業の振興に向けた要望活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ●海外産炭国への炭鉱技術研修事業の継続 <ul style="list-style-type: none"> ア. 国等関係機関に対する要望活動 : 東京1回、札幌1回 イ. 北海道石炭対策連絡会議との要望活動 : 東京2回 ②石炭に関連する啓発事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ア. 石炭基礎講座【写真1】 <ul style="list-style-type: none"> 日時: 令和4年10月8日 参加人数: 17名 内容: 釧路コールマイン(株)概況説明、施設見学 イ. 石炭セミナー【写真2】 <ul style="list-style-type: none"> 日時: 令和4年11月14日 参加人数: 約100名 内容: <ul style="list-style-type: none"> ・室蘭工業大学大学院工学研究科 特任教授 名誉教授 板倉 賢一 氏 『石炭ガス化によるカーボンニュートラルな水素製造と地域利用～三笠モデルとCO2固定事業～』 ・釧路コールマイン(株) 専務取締役 松本裕之氏 『カーボンリサイクルにおけるKCMと先進地の事例』 ウ. 石炭啓発資料の作成
<p>③補助金の交付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道と連携し、釧路炭鉱の保安確保等を促進し、坑内の保安確保及び坑道開発に必要な設備機器の設置等に用いる釧路炭鉱保安整備事業を補助する。 ・釧路炭鉱の経営の安定を図るため、新たな事業に取り組むための設備、機械装置の設置等に対して釧路炭鉱新事業取組支援事業を補助する。 	<p>③補助金の交付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・坑道維持資材(特殊枠、継目板等)として、20,000千円を支出 ・国の坑内埋め戻し技術開発事業を効率的に行うための再現検証設備整備として、10,000千円を支出 <p>◎成果</p> <p>国等関係機関への要望活動において、国の研修事業の継続や坑内埋め戻し技術開発への支援継続について要望するなど、地域の声を届けることができた。石炭セミナーでは、コロナ禍の中においても多数の市民が参加し、石炭産業の必要性について周知が図られた。また、補助を行うことにより、高い保安技術の維持、経営の安定化が図られた。</p>



【写真1】



【写真2】

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等


令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度以降の研修事業を継続していくこと。 ・エネルギーの安定供給確保に資する釧路コールマインの炭鉱技術に対する理解促進が必要。 ・釧路コールマイン(株)の高い保安技術を継続して維持する。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度以降の研修事業を継続していくこと。 ・エネルギーの安定供給確保に資する釧路コールマインの炭鉱技術に対する理解促進が必要。 ・釧路コールマイン(株)の高い保安技術を継続して維持する。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・国等関係機関への要望活動の継続。 ・セミナー等の開催により、石炭の重要性や研修事業の意義について、広く多くの市民に周知し、理解を得る。 ・補助事業の維持継続。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・国等関係機関への要望活動の継続。 ・セミナー等の開催により、石炭の重要性や研修事業の意義について、広く多くの市民に周知し、理解を得る。 ・補助事業の維持継続。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	炭鉱技術研修支援事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部産業推進室
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 釧路市石炭産業対策協議会事業計画
目的と概要	海外産炭国への炭鉱技術研修事業により、釧路コールマイン(株)が受け入れを行っている海外研修生と市民が友好的な関係を築き、研修事業を円滑に進めるための交流事業を実施する。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>①市民交流プログラムの実施 海外研修生と市民による交流プログラムを、市民交流関係団体(釧路市石炭産業対策協議会、釧路国際交流の会)を通じて実施する。</p>	<p>①市民交流プログラムの実施 ・開催回数:6回 ・内容:くしろ益浦夏まつり、交流ボウリング大会【写真1】、冬迎祭 ほか ・参加人数:29名</p>
<p>「釧路市石炭産業対策協議会」とは？</p> <p>釧路市、釧路市議会、釧路商工会議所、連合北海道釧根地域協議会などから構成される組織。釧路市における石炭産業の存続と新産業創出等による地域振興を図るため、石炭の安定需要確保のための方策の実施と、外国人研修生への市民交流事業等の実施を行っている。</p>	 <p>【写真1】</p>
<p>「釧路国際交流の会」とは？</p> <p>国際交流や国際協力活動等、地域の国際化を支援し、釧路地域における国際交流活動を行っている市民団体で、海外研修生との市民交流プログラムを実施している。</p>	<p>◎成果 交流プログラムの実施及び研修生の参加については、市中の新型コロナウイルス感染状況等を勘案し判断されたため、多くの参加に結びつかなかったものの、令和4年度に3年ぶりに来日した研修生からは、「地域住民と交流できる貴重な機会である」との声があり、本事業により相互の交流が図られている。</p>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		631	861	1,274
財源	一般財源 (千円)	631	861	1,274
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	5,654	5,632	5,772
①	職員数 (人)	0.8	0.8	0.8
参考	市民一人あたりの費用 (円)		5.4	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持	
課題	・市民交流プログラムを通して、研修生の日本文化への理解促進を図る。また、地域住民については、研修事業の理解促進につなげる必要がある。	課題	・市民交流プログラムを通して、研修生の日本文化への理解促進を図る。また、地域住民については、研修事業の理解促進につなげる必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	・市民交流関係団体で組織する市民交流事業推進会議において、事前に行事開催と日程等を調整する。 ・海外研修生から高い評価を受けており、研修事業継続の一因となっているため、事業を維持継続する。	今後(令和6年度以降)の方向性	・市民交流関係団体で組織する市民交流事業推進会議において、事前に行事開催と日程等を調整する。 ・海外研修生から高い評価を受けており、研修事業継続の一因となっているため、事業を維持継続する。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	食の魅力づくり推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部観光振興室
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第二期釧路市観光振興ビジョン 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	釧路の一大イベントとして定着し、観光客の認知度も向上している「釧路大漁どんぱく」や「いい味イキイキしろ」をはじめとしたイベント等の取り組みを支援することで、各種グルメを更なる観光客誘致のための資源とし、観光地としての魅力を向上させ、地域経済の活性化を図る。また、釧路市と姉妹都市・友好都市関係にある自治体と観光・物産交流を行い、都市間交流の発展を図るとともに、市の認知度向上を図る。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		8,157	13,752	15,374
財源	一般財源 (千円)	8,157	12,337	14,374
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)		1,415	1,000
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	2,120	2,112	2,165
①	職員数 (人)	0.3	0.3	0.3
参考	市民一人あたりの費用 (円)		86.5	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果																												
<p>①グルメ観光の推進 平成16年から開催されている「釧路大漁どんぱく」は、「いい味イキイキしろ」や「農業・農村フェア・イン釧路」など、市内の様々なグルメイベントを集約しており、毎年多くの観光客の集客が見込めるイベントである。グルメを中心に組み立てた「釧路大漁どんぱく」や「いい味イキイキしろ」などイベントの実施に携わる実行委員会の運営を支援することで、各種グルメの観光資源化へつなげ、観光地としての魅力向上と滞在型観光の推進を図る。</p> <p>②姉妹都市・友好都市などの観光・物産交流 姉妹都市(湯沢市・鳥取市)、友好都市(岡山市・出水市)で開催するイベント等に参加し、地場製品の販売や観光PRを行うことで、釧路市の認知度向上や都市間交流の発展を図る。</p> <p>③海外販路拡大 海外における地場製品の販路拡大を推進し、外貨獲得による地域活性化を図るため、(一社)釧路市物産協会に対し補助金を支出する。</p>	<p>①グルメ観光の推進 第19回釧路大漁どんぱく 開催日: 令和4年9月10日(土)～11日(日) 2日間 ※新型コロナウイルスの影響により、通常の3日間から2日間開催となった。</p> <p>入場者数: 約120,000人</p>  <p>②姉妹都市・友好都市などの観光・物産交流</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催期間</th> <th>行事催事名</th> <th>開催地</th> <th>参集人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2022年 10月1日(土)・2日(日)</td> <td>全国ふるさとまつりまいもの市</td> <td>神奈川県大和市</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>2022年 10月2日(日)</td> <td>岡山市京橋朝市</td> <td>岡山県岡山市</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>2022年 11月3日(木)</td> <td>鳥取市木のまつり</td> <td>鳥取県鳥取市</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>2022年 11月18日(土)・19日(日)</td> <td>出水市大産業祭</td> <td>鹿児島県出水市</td> <td>50,000人</td> </tr> <tr> <td>2022年 11月18日(土)・19日(日)</td> <td>まつしげカレーフエスタ</td> <td>徳島県松茂町</td> <td>4,700人</td> </tr> <tr> <td>2023年 2月11日(土)・12日(日)</td> <td>湯沢市犬こまつり</td> <td>秋田県湯沢市</td> <td>165,000人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルスの影響により神奈川県大和市、岡山県岡山市、鳥取県鳥取市のイベントは中止となった。</p> <p>③海外販路拡大 ・大葉高島屋の台北市天母店にて開催された「北海道店」への出店(台湾1回実施、7店舗出店) ・海外取引先及び関係先へ営業活動を行った。 現地コーディネーターによる営業活動(台湾31回 ※オンライン含む)</p>	開催期間	行事催事名	開催地	参集人員	2022年 10月1日(土)・2日(日)	全国ふるさとまつりまいもの市	神奈川県大和市	中止	2022年 10月2日(日)	岡山市京橋朝市	岡山県岡山市	中止	2022年 11月3日(木)	鳥取市木のまつり	鳥取県鳥取市	中止	2022年 11月18日(土)・19日(日)	出水市大産業祭	鹿児島県出水市	50,000人	2022年 11月18日(土)・19日(日)	まつしげカレーフエスタ	徳島県松茂町	4,700人	2023年 2月11日(土)・12日(日)	湯沢市犬こまつり	秋田県湯沢市	165,000人
開催期間	行事催事名	開催地	参集人員																										
2022年 10月1日(土)・2日(日)	全国ふるさとまつりまいもの市	神奈川県大和市	中止																										
2022年 10月2日(日)	岡山市京橋朝市	岡山県岡山市	中止																										
2022年 11月3日(木)	鳥取市木のまつり	鳥取県鳥取市	中止																										
2022年 11月18日(土)・19日(日)	出水市大産業祭	鹿児島県出水市	50,000人																										
2022年 11月18日(土)・19日(日)	まつしげカレーフエスタ	徳島県松茂町	4,700人																										
2023年 2月11日(土)・12日(日)	湯沢市犬こまつり	秋田県湯沢市	165,000人																										

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 今後もイベント開催時における新型コロナウイルスの感染対策が必要であることから、警備体制の強化などによる人員増等が課題である。 海外への地場製品の販路拡大については、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえつつ、新たな手法も検討しながら、進めていく必要がある。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 「釧路大漁どんぱく」における観光客誘致に向け、イベントの充実や知名度アップにつながる取り組みの検討。 海外への地場製品の販路拡大については、オンラインによる商談会など、新たな手法も検討しながら進めていく必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 釧路大漁どんぱくにおいても感染対策をしっかりと行ったうえで実施し、飲食店等との連携による食のイベント等を活用した観光客誘致につなげる取り組みを行う。また、姉妹友好都市からの観光客誘致につなげるプロモーションを実施する。 海外への地場製品の販路拡大については、オンライン商談会や物産関係団体との連携による取り組みを進めていく。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 「食」をコンテンツとした誘客促進や、姉妹都市・友好都市などとの観光・物産交流による交流人口の拡大に向けた取り組みを進めていく。 海外への地場製品の販路拡大においても、(一社)釧路市物産協会を中心に、新規取引先の販路開拓に繋がる取り組みを進めていく。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	MICE産業強化推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部観光振興室
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	第二期釧路市観光振興ビジョン
	第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	観光産業の一角を担うMICEは、一般観光客よりも高い消費が見込まれているため、誘致から受け入れまでの体制を官民一体となって構築することにより、MICE産業を育成し、観光消費額及び入込数の増加を図る。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		999	1,018	684
財源	一般財源 (千円)	999	1,018	684
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	2,827	2,816	2,886
①	職員数 (人)	0.4	0.4	0.4
参考	市民一人あたりの費用 (円)		6.4	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1) 年度当初計画	(2) 事業の実績と成果																				
<p>① 釧路市開催に向けた誘致事業</p> <p>○関係機関とのMICE誘致活動の実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際会議等 北海道開催の推進に係る情報交換会への出席及び首都圏商談会、首都圏フォローアップ(商談を行った団体へ訪問)を行う。 ・MICEパンフレット、歓迎ポスター(開催時)を製作。 <p>② 釧路市で開催される大会への支援事業 (釧路観光コンベンション協会が主体となった事業の実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内施設において開催される大会・会議を歓迎し、運営支援を実施。 ○準備時の支援 ・事前視察の受入として、会場、宿泊施設の下見等の調整。 ・観光パンフレット、観光DVD映像などの観光情報ツールの提供。 ・アトラクション、大会後の視察や観光ツアー(アフターMICE)提案。 ・印刷、旅行会社、仕出しなど地元精通した事業者の紹介。 ○開催中の支援 ・物産販売、観光案内コーナーの設置など。 <p>③ 調査事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度以降開催予定の大会、イベント調査。 <p>④ コンベンション開催補助金制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・釧路市において、MICEを誘致するため釧路市内でMICEを開催する者に対し、予算の範囲内で、コンベンション開催補助金を交付する。 	<p>① 釧路市開催に向けた誘致事業</p> <p>○関係機関とのMICE誘致活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道MICE誘致推進協議会実務者会議出席(5月、8月、10月、3月) ・東京において商談会・MICE関連企業訪問(11月) <div style="text-align: center;">◎大会開催数の推移</div> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予 大会数(件)</td> <td>58</td> <td>54</td> <td>-4</td> </tr> <tr> <td>定 参加人数(人)</td> <td>23,841</td> <td>15,533</td> <td>-8,308</td> </tr> <tr> <td>実 大会数(件)</td> <td>31</td> <td>57</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>績 参加人数(人)</td> <td>9,124</td> <td>20,871</td> <td>11,747</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 釧路市で開催される大会への支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度に開催を予定している大会の準備として、日程の提案や会場の下見の対応をするなどの支援を行った。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>MICEとは</p> <p>Meeting、Incentive、Congress、Convention、Event & Exhibitionの略で、会議や学会、イベント、展示会、スポーツ大会等、何らかの目的を持った人々の集まりのことをいいます。</p> </div> <p>③ 調査事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会、イベント一覧を作成した。 <p>④ コンベンション開催補助金制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商談会や懇談会、HP等で補助金制度の周知を行い、MICEを誘致した。 ・視察対応等を積極的に実施することで、補助金を活用したMICE開催誘致につなげることができた。 		R3年度	R4年度	前年比	予 大会数(件)	58	54	-4	定 参加人数(人)	23,841	15,533	-8,308	実 大会数(件)	31	57	26	績 参加人数(人)	9,124	20,871	11,747
	R3年度	R4年度	前年比																		
予 大会数(件)	58	54	-4																		
定 参加人数(人)	23,841	15,533	-8,308																		
実 大会数(件)	31	57	26																		
績 参加人数(人)	9,124	20,871	11,747																		

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等


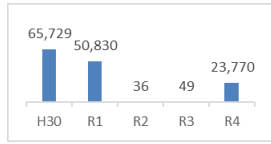
令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果					
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table style="display: inline-table; border: 1px solid black;"> <tr> <td style="border: 1px solid black;">評価</td> <td style="border: 1px solid black;">継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持	該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table style="display: inline-table; border: 1px solid black;"> <tr> <td style="border: 1px solid black;">評価</td> <td style="border: 1px solid black;">継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持
評価	継続維持						
評価	継続維持						
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、令和2年度以降、市内で開催を予定していた大会については中止、もしくは延期となっており、今後、アフターコロナを見据え、釧路観光コンベンション協会が主体となり、北海道MICE誘致推進協議会とも連携を図りながら、大会や学会などの開催誘致を進めていく必要がある。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響が緩和され、大会開催数も増えているものの、コロナ前の大会開催数に戻っていないことから、釧路観光コンベンション協会が主体となり、北海道MICE誘致推進協議会とも連携を図りながら、大会や学会などの開催誘致を進めていく必要がある。また多様な大会に対応できるように会場の整備やホテルとの連携・協力体制も必要である。 				
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍からの観光需要の回復を目指す上で、MICE誘致は誘客施策の一つとして重要な役割を担っていることから、冷涼な気候、食、自然等の利点を活かした大会誘致やアフターMICE、開催補助金制度の周知などを強化し、MICE誘致再開に向けた取り組みを進めていく。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・MICE誘致は誘客施策の一つとして重要な役割を担っていることから、冷涼な気候・食・自然等の利点を生かした大会開催及びアフターMICE、開催補助金制度の周知をしながら、コロナ前の大会開催数に戻せるよう誘致活動を進める。 				

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	滞在周遊促進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部観光振興室 産業振興部阿寒観光振興課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	第二期釧路市観光振興ビジョン
	第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	海外からの観光客による誘客促進を図るため、欧米豪・アジアへ釧路地域の魅力を発信するとともに、観光関係団体と連携し、外国人観光客の誘客促進に向けた取組を進める。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果												
<p>■インバウンドノベルティ事業</p> <p>○しつげん55(ゴーゴー)パスの配布</p> <p>・釧路市内や阿寒温泉、摩周・川湯温泉に宿泊する台湾からの団体観光客に対し「しつげん55パス」を配布する。</p> <p>※インバウンドノベルティ 海外からの観光客に対するプレゼント</p> 	<p>■インバウンドノベルティ事業</p> <p>○パス配布実績</p> <p style="text-align: right;">訪日外国人宿泊客延数推移 (単位:人)</p> <p style="text-align: center;">【台湾】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>年度</th> <th>配布実績</th> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td>23,350枚</td> </tr> <tr> <td>R元年度</td> <td>27,600人</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>R3年度</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>R4年度</td> <td>9,737人</td> </tr> </table>  <p>※R元年度、R2年度実績には「釧路FreePass」分を含む ※インバウンドノベルティの配布方法の見直しによりR元年度から単位を「枚」から「人」に変更 ※R4年度の11月から配布再開</p> <p>【事業成果】 水際対策の緩和により11月から配布を再開。春節も影響し、利用者が大幅に回復した。</p>	年度	配布実績	H30年度	23,350枚	R元年度	27,600人	R2年度	3人	R3年度	0人	R4年度	9,737人
年度	配布実績												
H30年度	23,350枚												
R元年度	27,600人												
R2年度	3人												
R3年度	0人												
R4年度	9,737人												
<p>■観光振興臨時基金を活用した観光振興事業</p> <p>阿寒観光協会まちづくり推進機構による阿寒湖温泉地区の観光まちづくり事業の支援</p> <p>①まちなか活性化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観改善支援事業 <p>②おもてなし事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温泉街循環バス「まりむ号」運行事業 	<p>■観光振興臨時基金を活用した観光振興事業</p> <p>①まちなか活性化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観改善支援事業: 0件 <p>②おもてなし事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温泉街循環バス「まりむ号」運行事業 運行期間: 令和4年4月1日～令和5年3月31日 乗客数: 682名 												
<p>■二次交通整備事業</p> <p>・釧路空港と阿寒湖温泉を結ぶ「阿寒エアポートライナー」の運行等</p>	<p>■二次交通整備事業</p> <p>・釧路空港と阿寒湖温泉を結ぶ「阿寒エアポートライナー」の運行等</p> <p>運行期間: 令和4年4月1日～令和5年3月31日 乗客数: 3,409名</p>												

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		25,555	20,936	26,038
財源	一般財源 (千円)	0	138	330
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)	25,555	20,798	25,708
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	7,067	7,040	7,215
①	職員数 (人)	1.0	1.0	1.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		131.7	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人 (R5.3未現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果					
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <tr> <td style="border: 1px solid black;">評価</td> <td style="border: 1px solid black;">継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持	該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <tr> <td style="border: 1px solid black;">評価</td> <td style="border: 1px solid black;">継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持
評価	継続維持						
評価	継続維持						
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響がいまだに続いており、インバウンドの渡航状況を見極めながら、訪日客の回復に向けて取り組む必要がある。また、観光振興臨時基金を活用した観光振興事業については、新型コロナウイルスの影響により入湯客が大きく減少していることから、入湯税の収入見通しを見定めた計画的な事業構築が必要とされている。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・訪日客が回復傾向であることから、さらなる誘致に向けて周知が必要である。また観光振興臨時基金を活用した観光振興事業は、令和6年度に計画期間終了を迎えるが、コロナ禍による大きな影響があった。 				
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、インバウンドの状況等を見極めながら、訪日誘客の回復につながるような事業を進める。また、事業財源の収入状況を踏まえつつ、入湯客の回復状況等を見定めながら、計画的に事業を推進する。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、インバウンドの状況等を見極めながら、さらなる誘致に向けて事業を進める。また、観光振興臨時基金は、阿寒湖温泉地区の観光振興にとって貴重な財源であり、今後の方向性などの検討が必要である。 				

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	冬季体験型観光強化推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部観光振興室
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	第二期釧路市観光振興ビジョン
目的と概要	釧網本線沿線及び周辺自治体と連携を図りながら、SLやタンチョウ等を中心とした冬季観光のPRを実施する。また、冬ならではの釧路湿原を満喫できる周遊バス「冬のたんちょう号」運行事業の支援を進めることにより、当圏域にとって課題である冬季観光客の誘致促進に結びつける。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		650	930	930
財源	一般財源 (千円)	650	930	930
	国庫支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	2,120	2,112	2,165
①	職員数 (人)	0.3	0.3	0.3
参考	市民一人あたりの費用 (円)		5.8	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014人 (R5.3未現在)				
注2) 市民一人あたりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果																								
<p>①SLを中心とした冬季観光のPR活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・釧網本線沿線及び周辺自治体等で構成される、くしろ地域冬季観光開発協議会において、SLやタンチョウなど魅力のある観光素材を生かした、冬季の地域滞在型観光の実現を目指し、各種事業を実施する。 SL運転区間: 釧路—東釧路—釧路湿原—塘路—茅沼—標茶 <p>※くしろ地域冬季観光開発協議会に負担金を支出</p> <p>(ア)要請活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR北海道への要請の実施 <p>(イ)事業活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスター、啓発資材用手提げ袋の作成 ・旅行雑誌等を活用した宣伝広告 ・道央圏プロモーション活動の実施 ・SLネイチャー講座の実施 ・自治体PRデーの実施 <p>②「冬のたんちょう号」による冬季観光客の誘致促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一社)釧路観光コンベンション協会が、阿寒バス(株)の協力により、冬の湿原、タンチョウを満喫できる、しつげん55パスをセットにした周遊バス「冬のたんちょう号」を「SL冬の湿原号」の運行期間に合わせ運行し、冬の釧路の魅力でPRし冬季観光客の誘致促進に結びつけるもの。 ・釧路観光コンベンション協会に負担金を支出 	<p>①SLを中心とした冬季観光のPR活動の実施</p> <p>(ア)「SL冬の湿原号」継続運行にかかる要請活動の実施</p> <p>日時 令和4年7月19日(火)</p> <p>場所 JR北海道本社</p> <p>(イ)事業活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「SL冬の湿原号」ポスター作成(480部) ・旅行雑誌への広告掲載(旅行読売「1月号」) ・WEBページ・動画制作(釧路・阿寒湖観光公式サイト「Superfantastic Kushiro Lake Akan」内) ・「SLネイチャー講座」の実施 ・沿線自治体観光PRデーの実施 ・出発式の実施 <p>日時 令和5年1月21日(土)</p> <p>場所 JR釧路駅2・3番ホーム</p> <p>※道央圏プロモーション活動は新型コロナウイルスの影響により中止</p> <p>SL運行実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運行日数</td> <td>21日</td> <td>22日</td> <td>20日</td> <td>30日</td> <td>32日</td> </tr> <tr> <td>乗車人数</td> <td>9,200人</td> <td>9,480人</td> <td>7,123人</td> <td>6,402人</td> <td>13,553人</td> </tr> <tr> <td>平均/日</td> <td>442人</td> <td>431人</td> <td>356人</td> <td>213人</td> <td>424人</td> </tr> </tbody> </table> <p>②「冬のたんちょう号」による冬季観光客の誘致促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスや運行ルート上の道路の長期通行止め等の影響により、運行主体である阿寒バス(株)が総合的に判断し、運行廃止となったことから、冬季における誘客施策の展開が難しくなった。 	年度	H30	R1	R2	R3	R4	運行日数	21日	22日	20日	30日	32日	乗車人数	9,200人	9,480人	7,123人	6,402人	13,553人	平均/日	442人	431人	356人	213人	424人
年度	H30	R1	R2	R3	R4																				
運行日数	21日	22日	20日	30日	32日																				
乗車人数	9,200人	9,480人	7,123人	6,402人	13,553人																				
平均/日	442人	431人	356人	213人	424人																				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果					
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <tr> <td style="border: 1px solid black;">評価</td> <td style="border: 1px solid black;">継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持	該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <tr> <td style="border: 1px solid black;">評価</td> <td style="border: 1px solid black;">継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持
評価	継続維持						
評価	継続維持						
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は「SL冬の湿原号」の客車の一部リニューアルにより、多くの利用が期待されたところであるが、運行日数は増えたものの、新型コロナウイルスの影響により、運行実績が前年を下回る結果となった。 ・今後は、回復しつつある観光需要を捉えるための取組を行う必要がある。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度は新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和により、「SL冬の湿原号」の乗客数が大幅に増加したものの、時期によっては、座席予約が困難等、需要と供給の不均衡が見られた。 ・冬季間における滞在型観光の充実が求められること。 				
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・リニューアルを終えた車両を活用したPRを実施し、運航継続や運行日数の延長を要望しながら、誘客促進に取り組む。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・「SL冬の湿原号」の運行継続や運行日数の増等を要望しながら、より多くの需要に応えられる運行となるようJR北海道と協議していく。 ・閑散期となる冬季の滞在促進のため、釧路観光コンベンション協会との連携により、市街地を起点とした体験メニューづくりに向けた取り組みを進める。 				

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	アドベンチャートラベル推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部観光振興室 産業振興部阿寒観光振興課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第二期釧路市観光振興ビジョン 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	アドベンチャーツーリズム(以下AT)旅行者の欧米豪市場からの誘客促進のため、釧路、阿寒、摩周湖の各DMOとDMCと連携し、地域におけるAT推進体制強化を図る。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額	(千円)	28,750	57,871	72,031
一般財源	(千円)	11,828	36,715	54,449
国道支出金	(千円)	11,134	17,156	17,582
地方債	(千円)			
使用料・手数料	(千円)			
その他特定財源	(千円)	5,788	4,000	0
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考 職員人件費	(千円)	9,894	11,264	12,987
① 職員数	(人)	1.4	1.6	1.8
参考 市民一人あたりの費用	(円)		363.9	
② 市民一人あたりの将来負担額	(円)		0.0	
注1)	釧路市の人口	159,014 人 (R5.3末現在)		
注2)	市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。			

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>○ATWS2022 スイスへの参加 スイス・ルガーノで行われるATWS2022に参加し、商談会への参加及び大会に参加する海外AT関係者とのネットワーキングを図る 『開催概要』 日程:令和4年10月3日～6日 開催地:スイス ルガーノ市 参加者:各国旅行会社、メディア、政府観光局等のAT関係者 ※2019年大会は約60か国800人参加 主なプログラム:AT体験ツアー、商談会(旅行会社・メディア)、各種講演、ワークショップ等</p> <p>○AT推進体制の強化 釧路観光コンベンション協会(釧路DMO)及び阿寒観光協会まちづくり推進機構(阿寒DMO)が将来的にツアーコーディネーターの役割を担うべく、必要なノウハウやスキルを有する専門人材を配置し、DMO職員や地域おこし協力隊員といった人材の育成を進める。また、パトチャル開催を契機に、様々な媒体での情報発信や海外バイヤー等招請事業の実施など、近隣地域と連携した施策を実施する。これら事業の推進によりAT旅行者の増加に伴う地域における旅行消費額の増加を狙う。</p> <p>○ATマーケティング強化事業 ATWS2021北海道及びATWS2022スイスにて得た知見やネットワークを活用し、新たなATコンテンツやツアー商品の造成のほか、テストマーケティング及びプロモーションの実施など、地域のATの魅力を十分に伝えるための情報発信に取り組む。</p>	<p>◎ATWS2022 スイスへの参加 ・釧路、阿寒、摩周湖の各DMOとDMCが連携し商談を実施。 海外バイヤー等との商談:67社 ・最終日のクロージングセッションではATWS2023の北海道開催をアピールした。</p> <p>◎AT推進体制の強化 専門人材を釧路DMOに2名派遣、阿寒DMOに2名を配置。地域おこし協力隊を釧路地区・阿寒地区各2名の計4名配置。また、AT通訳ガイドの養成及び人材バンクを構築した。</p> <p>【AT専門人材配置】 ATツアーの造成や、商談会等によるビジネスネットワーク構築、地域おこし協力隊員等の人材育成を実施。 【地域おこし協力隊員配置】 語学力を活かした海外ATバイヤーとの商談、地域事業者とのネットワーク構築、SNSなどを用いた海外AT旅行者に向けた情報発信等を実施。 【AT通訳ガイドの養成】 計6日間11名の参加者に対して実践的な通訳ガイドトレーニングを実施。 また、参加者全員が英語通訳ガイドサポータークラブに登録。 【AT情報発信強化事業】 主にインバウンドをターゲットとし、釧路市のATを発信するための特設ページを作成し、釧路市観光公式サイト内に掲載。 URL:http://ja.kushiro-lakeakan.com/adventure-travel-ja/</p> <p>◎ATマーケティング強化事業 【ATコンテンツ等の造成】 海外ATバイヤー等3名を招請し、3泊4日のモニターツアーを実施。また、AT取り扱い旅行会社(計5社)にATコンテンツのセールスを行い、商品造成や企画提案を実施。 【海外バイヤー等招請事業】 北海道運輸局、北海道エアポート(HAP)と連携した海外ATバイヤー等招請事業を2回実施し、地域のATを体験とともに、今後のATツアー造成に係る意見交換などを実施。 ①令和4年9月9日～16日(釧路市は9月14日) 招請者:3名 ②令和5年1月30日～2月2日 招請者:2名</p>
<p>・ATWS2022 クロージングセッションの様子</p> 	<p>・英語体験プログラム実践セミナーの様子</p> 

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等



令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	・ATWSバーチャル北海道/日本の開催効果を最大化させるため、当該大会で構築したビジネスネットワークを活かし、切れ目なくプロモーション等の施策を展開し、誘客に繋げていく必要がある。また、インバウンドの再開に備えて、質の高いATツアーを提供できるよう体制を強化する必要がある。	課題	・地域の認知度向上や海外AT関係者とのネットワーク、さらに地域における推進体制の整備が充分とはいえない。
今後(令和5年度以降)の方向性	・スイスで開催されるATWS2022に出展するほか、海外バイヤーを招請するなど、海外ATバイヤーをターゲットにプロモーション等の施策を展開する。また、引き続きAT専門人材等の配置による体制整備を推進する。	今後(令和6年度以降)の方向性	・海外AT関係者とのネットワーク強化や、海外AT関係者を対象としたプロモーションを引き続き実施するとともに、ATを地域に根付かせるためのAT専門人材の配置などによる地域の受入体制整備を推進する。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	道東道利用促進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部観光振興室
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第二期釧路市観光振興ビジョン 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	交流人口増を地域の活性化に繋げるために、観光客数の堅調な伸びを維持し「道東道延伸効果」の持続に向け、くしろ地域の魅力を発信するプロモーション活動をオールくしろで実施する。

2 当初計画と実績・コスト・成果

<p>(1)年度当初計画</p> <p>管内各市町村で構成される「ウェルカム道東道!!オールくしろ魅力発信キャンペーン市町村実行委員会」において、交流人口増を地域の活性化に繋げるために、「道東道延伸効果」の持続に向け、取組を強化する。 道内在住者を対象にした下記メディアプロモーションを実施する。</p> <p>(1)JAFと連携した情報発信</p> <p>(2)オールくしろ魅力発信キャンペーンの展開</p> <p>※「ウェルカム道東道!!オールくしろ魅力発信キャンペーン市町村実行委員会」に負担金を支出。</p>	<p>(2)事業の実績と成果</p> <p>①事業実績</p> <p>(1)JAFと連携した情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ドライブスタンプラリーの実施 (令和4年7月1日～9月30日) スタンプラリー参加者数:455名 応募者数:158名 ◎JAF PLUS掲載(2022年夏号) <p>(2)オールくしろ魅力発信キャンペーンの展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ドライブくしろキャンペーンの実施 クーポン利用実績1,203件 ◎道東道開通PRインフラツアーの実施 参加者数:28名(応募者数:48名) ◎特設WEBサイトの開設による情報発信 アクセス数 29,359回 <p>②成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎新型コロナウイルスの規制緩和により、入込客数は回復傾向にある。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入込客総数</td> <td>2,460,794</td> <td>2,755,592</td> <td>3,809,978</td> </tr> <tr> <td>道内入込客数</td> <td>1,821,350</td> <td>2,072,137</td> <td>2,737,792</td> </tr> <tr> <td>道外入込客数</td> <td>639,444</td> <td>683,455</td> <td>1,072,186</td> </tr> <tr> <td>道内客の割合</td> <td>74%</td> <td>75%</td> <td>72%</td> </tr> <tr> <td>道外客の割合</td> <td>26%</td> <td>25%</td> <td>28%</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>		R2年度	R3年度	R4年度	入込客総数	2,460,794	2,755,592	3,809,978	道内入込客数	1,821,350	2,072,137	2,737,792	道外入込客数	639,444	683,455	1,072,186	道内客の割合	74%	75%	72%	道外客の割合	26%	25%	28%
	R2年度	R3年度	R4年度																						
入込客総数	2,460,794	2,755,592	3,809,978																						
道内入込客数	1,821,350	2,072,137	2,737,792																						
道外入込客数	639,444	683,455	1,072,186																						
道内客の割合	74%	75%	72%																						
道外客の割合	26%	25%	28%																						

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		1,251	1,243	1,244
財源	一般財源 (千円)	1,251	1,243	1,244
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	2,120	2,112	2,165
①	職員数 (人)	0.3	0.3	0.3
参考	市民一人あたりの費用 (円)		7.8	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人あたりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスにより落ち込んだ需要回復のため、くしろ地域を旅先に選択されるように、利用促進に向けて引き続き道内観光客の利用促進に向けた情報発信が必要となる。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・道東道を利用したドライブ観光の情報発信強化が必要となる。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度の本別～釧路間の全線開通に向けて、利便性の向上やアドベンチャー・ツーリズムなどの新たなコンテンツを含めたくしろ地域の魅力を発信し、地域全体で誘客を行っていく。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・道東道延伸を契機とした「くしろ地域の魅力発信」の取組を実施してきた中で、令和6年度秋によいよ道東道(本別～釧路間)が全線開通することに伴い、これまでの成果や課題をしっかりと踏まえ、アフターコロナにおけるドライブ観光の取り組み強化とともに、くしろ地域の魅力を最大限に発信し、地域全体で誘客を行っていく。


令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	ひがし北海道空港連携誘致事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部観光振興室
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第二期釧路市観光振興ビジョン 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	ひがし北海道エリアにおける海外からの誘客を図るため、釧路・帯広・網走市が連携し、誘客促進施策と国際線就航の実現に向けた取り組みを進める。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		541	1,004	1,500
財源	一般財源 (千円)	541	1,004	1,500
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	4,947	4,928	5,051
①	職員数 (人)	0.7	0.7	0.7
参考	市民一人あたりの費用 (円)		6.3	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>●情報発信事業</p> <p>(1)台湾在住の個人旅行者向けJR・道東3市特設WEBサイト、Facebookを活用した情報発信事業(JR北海道連携)</p> <p>(2)台湾在住一般旅行者向けセミナー(台北・高雄)(JR北海道連携)</p> <p>(3)海外旅行会社向けひがし北海道デジタルパンフレット制作</p> <p>●招聘事業</p> <p>(1)台湾航空会社・旅行会社招聘事業(北海道エアポート、国土交通省北海道運輸局連携)</p> <p>・北海道エアポート・国土交通省北海道運輸局と連携し、台湾の旅行会社・航空会社を釧路地域へ招聘し、最新のひがし北海道エリアの魅力伝え、台湾からひがし北海道エリアへ行く旅行商品造成促進を図る</p>	<p>●情報発信事業</p> <p>(1)台湾在住の個人旅行者向けJR・道東3市特設WEBサイト、Facebookを活用した情報発信事業(JR北海道連携)</p> <p>・台湾向けWEBアンケートを実施</p> <p>・アンケート結果に基づいてFacebook繁体字版「REAL北海道」に5記事を投稿</p> <p>・道東3市特設WEBサイトについて必要箇所の修正を実施</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>(2)台湾一般旅行者向けセミナー(台北・高雄)(JR北海道連携)</p> <p>・JR北海道単独にて実施(パンフレット等の提供)</p> <p>(3)海外旅行会社向けひがし北海道デジタルパンフレット制作</p> <p>・新型コロナウイルス収束後の訪日外国人観光客誘致を目的に、「ひがし北海道観光キャンペーン協議会」で作成しているひがし北海道観光パンフレットを台湾版デジタルパンフレットに内容校正し、JAL・ANAの台湾支店を通じて情報発信を実施</p> <p>●招聘事業</p> <p>(1)台湾航空会社・旅行会社招聘事業(北海道エアポート、国土交通省北海道運輸局連携)</p> <p>・国土交通省北海道運輸局と北海道エアポートが連携して実施した台湾旅行会社招聘事業と連携し、台湾のエバー航空・長汎旅行会社をひがし北海道エリアへ招聘。</p> <p>・運輸局と北海道エアポートが招聘した旅行会社5社と併せ計7社へひがし北海道エリアの魅力を紹介し、旅行商品造成促進を実施</p>

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 長期にわたる新型コロナウイルス感染拡大の影響により、台湾をターゲットとした海外プロモーションや旅行会社等へのセールス活動、国際チャーター便誘致に向けた要請活動が実施できていない状況となっており、今後、感染状況を踏まえながら旅行需要喚起に向けた取り組みを進めていく必要がある。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 国の水際対策緩和や国際線の再開により、外国人旅行者数は回復傾向にあるものの未だコロナ禍前の水準に届かないことから、ひがし北海道の魅力ある観光情報を継続的に発信し、アフターコロナの旅行需要喚起及びひがし北海道旅行を訴求する必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 訪日外国人観光客の受入が再開したことから、これまでの情報発信事業のほか、新型コロナウイルスの影響により実施を見送っていた北海道エアポート(株)と連携した国際チャーター便の誘致や、ひがし北海道地域というスケールメリットを活かした各種プロモーションなど、誘客事業の再開に向けた協議を進めていく。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 北海道エアポートと連携した国際チャーター便の誘致や、ひがし北海道地域というスケールメリットを活かした各種プロモーションなど、誘客促進施策と国際線就航の実現に向けた取り組みを帯広市・網走市と連携しひがし北海道一体となって進める。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	水のカムイ観光圏協議会負担金<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部観光振興室
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第二期釧路市観光振興ビジョン 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 観光圏整備法(国土交通省観光庁)
目的と概要	釧路市と弟子屈町の行政や観光団体など37団体で構成する釧路湿原・阿寒・摩周観光圏(※1)において「2泊3日以上滞在する魅力あふれる自然共生型滞在観光地づくり」などを目的に、釧路・阿寒・弟子屈のDMO等の連携による観光圏プラットフォーム(※2)を構築し、広域での観光地域づくり事業を連携して推進を図る。市は負担金を支出。 (※1)平成27年4月10日に国より「水のカムイ観光圏」として認定 (※2)観光圏プラットフォーム～観光圏の一元的な窓口機能を担う組織

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>①負担金を財源とした観光圏整備事業 ○広域的な滞在促進に資するコンテンツの磨き上げ ・当圏域のATの魅力伝えるため動画作成</p> <p>○移動の利便性の向上(アクセス整備) ・阿寒バス(株)「釧路知床号」「知床釧路号」の定期観光バスの運行区間のうち、阿寒湖及び道の駅摩周温泉の乗降部分を当観光圏におけるネットワークバスと見なした、運行期間における広告プロモーション等への支援</p> <p>○プロモーション事業 ・アフターコロナを見据えたJNTOの活用による情報発信</p> <p>○来訪者調査 ・マーケティング調査の実施 ・滞在プログラム満足度調査の実施</p> <p>○観光圏ホームページ等維持管理 ・ポータルサイトや無料Wi-Fi等情報インフラの改善、保守・管理</p> <p>○住民が一体となった観光地域づくりの推進事業 ・観光地域づくりセミナーの開催</p> <p>○観光圏間の連携の推進 ・全国観光圏推進協議会事業への参画など</p>	<p>①負担金を財源とした観光圏整備事業 ○広域的な滞在促進に資するコンテンツの磨き上げ ・当圏域の冬季のATの魅力伝えるため動画を作成した 商談用(45秒) 6本 概要版(3分) 1本 英語ナレーション付き(10分) 1本</p>  <p>○移動の利便性の向上(アクセス整備) ・阿寒バス(株)「釧路知床号」「知床釧路号」の定期観光バスの運行区間のうち、阿寒湖及び道の駅摩周温泉の乗降部分を当観光圏におけるネットワークバスと見なした、運行期間における広告プロモーション等への支援を行った 運行期間: 釧路知床号 2月1日～3月11日 知床釧路号 2月2日～3月12日</p> <p>○プロモーション事業 ・海外向けSNSによる情報発信を実施した 投稿閲覧者数: 2,428回 クリック、いいね等: 118回</p>  <p>○来訪者調査 【期間】 夏期: 8月～9月 冬期: 1月 【回答票数】 夏期: 日本人712票 外国人8票 冬期: 日本人253票 外国人47票</p> <p>○観光圏ホームページ等維持管理 ・ポータルサイトなどの情報インフラなどを外国人目線に立って管理及び改善を行った ・Wi-Fiの維持管理を行った</p> <p>○住民が一体となった観光地域づくりの推進事業 ・「インバウンド再開に向けた今後の展望」としてセミナーを開催した 日時: 2月7日 会場: 観光国際交流センター 参加者数: 40名</p>  <p>○観光圏間の連携の推進 ・全国観光圏推進協議会事業へ参画した</p>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費	総額 (千円)	5,784	5,784	6,685
財源	一般財源 (千円)	5,784	5,784	6,685
	国庫支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	3,534	3,520	3,608
①	職員数 (人)	0.5	0.5	0.5
参考	市民一人あたりの費用 (円)		36.4	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	・第2期水のカムイ観光圏整備計画(R2～R6年度)で示した取組の実現に向け事業実施を継続するが、引き続き、海外との渡航制限の状況等を見極めながら、アフターコロナの観光需要回復に向け、柔軟な対応が必要。	課題	・第2期水のカムイ観光圏整備計画(R2～R6年度)で示した取組の実現に向け事業実施を継続するが、アフターコロナを迎え急速に回復しつつある訪日観光需要の当圏域への獲得に向け、より積極的な情報発信等が必要。
今後(令和5年度以降)の方向性	・DMO、観光地域づくりマネージャー等を中核に、多様な事業者と連携し、ひがし北海道エリアの拠点としての広域連携による観光地域づくりを進めるとともに、ATの推進を図るため、これまでの取り組みを活かしながら、魅力を発信していく。	今後(令和6年度以降)の方向性	・DMO、観光地域づくりマネージャー等を中核に、多様な事業者と連携し、ひがし北海道エリアの拠点としての広域連携による観光地域づくりを進めるとともに、令和6年度が今次計画期間の最終年次となることから、新たな整備計画策定に向けた関係機関との協議を進める。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	国内観光客誘致事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部観光振興室
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第二期釧路市観光振興ビジョン 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	国内観光客の継続的・安定的な誘致を図るため、釧路地域の認知度向上を高めるとともに、観光関係団体等と連携したプロモーション活動の実施など、国内観光客の誘客促進に向けた取り組みを進める。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		1,393	2,728	2,464
財源	一般財源 (千円)	1,043	1,965	2,464
	国道支出金 (千円)	350	350	
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)		413	
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考 職員人件費 (千円)		5,654	5,632	5,772
① 職員数 (人)		0.8	0.8	0.8
参考 市民一人あたりの費用 (円)			17.2	
② 市民一人あたりの将来負担額 (円)			0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人あたりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果																																
<p>①プロモーション活動への支援 釧路観光コンベンション協会が実施する、旅行会社商品造成担当へのセールスや、北海道観光振興機構主催の北海道観光プロモーションへの参加などによる国内観光客誘致活動に対する支援を行う。</p> <p>②北海道くしろ地域と東京特別区による関係醸成プロジェクト 北海道釧路地域・東京都特別区交流推進協議会において、釧路地域と東京都特別区の経済交流による交流人口拡大、販路拡大、地域活性化、首都圏からの誘致促進を図るため各種事業を実施。</p> <p>③修学旅行誘致事業支援 釧路観光コンベンション協会が実施する、釧路ならではの体験・学習メニューをまとめた修学旅行のガイドブックの作成や、旅行エージェントや道内の小中学校及び全国の高校への誘致活動に対する支援を行う。</p>	<p>①プロモーション活動への支援 ○国内プロモーション ・航空会社表敬訪問及び要望活動(令和4年10月4日～7日) 航空会社へのトップセールス(市・商工会議所同行) ・ひがし北海道DMO商談会(東京・大阪:令和4年4月26日～28日)(札幌:令和4年10月3日～4日) 札幌・東京・大阪各地域旅行会社・メディアとの商談会 【商談実施状況】札幌会場:12社、東京会場:16社、大阪会場:12社 ・札幌プロモーション(令和4年8月5日～7日) 大ほっかいどう祭りへNPO阿寒観光協会と共同でブース出展 ・首都圏プロモーション(令和4年10月8日～12日) 北海道観光振興機構主催の観光PRイベント「北海道まるごとinサンシャインシティ」へ出展 ・東京・大阪・名古屋旅行会社プロモーション(令和4年12月13日～17日) 旅行会社へのセールスプロモーション 【商談実施状況】東京:6社、大阪:5社、名古屋:3社</p> <p>②北海道くしろ地域と東京特別区による関係醸成プロジェクト ・荒川区内においてくしろパネル展の開催 (令和4年12月6日～16日、令和5年1月9日～20日) ・荒川区内在住者・在勤者を対象としたオンラインストアによるくしろ地域特産品販促キャンペーンの実施 (令和4年12月5日～令和5年1月31日) ・インフルエンサーを招聘した情報発信 (令和4年8月9日～9月1日、令和5年2月18日～23日) ・実践型情報発信セミナーの開催(令和5年1月19日) ・招聘事業の同行ツアーの実施(令和4年7月24日) ・荒川区役所食堂等にて「くしろ食材フェア」の実施 (令和4年11月28日～12月10日、12月5～9日) ・くしろ地域産食品オンライン商談会の開催(令和5年3月6日) ・観光情報の提供や、長期滞在、移住相談等をフォローする「くしろ地域ファン受け入れ窓口」の設置</p> <p>③修学旅行誘致事業支援 ・修学旅行ガイドブックを学校377部、旅行会社127社に送付 ・道内セールスを実施(札幌・旭川、北見・網走) ・北海道教育旅行説明会商談会を実施</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">小中学校</td> <td>学校数</td> <td>65校</td> <td>52校</td> <td>38校</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>5,389人</td> <td>4,316人</td> <td>2,321人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高等学校</td> <td>学校数</td> <td>14校</td> <td>20校</td> <td>36校</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>965人</td> <td>2,346人</td> <td>5,874人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">専門学校等</td> <td>学校数</td> <td>1校</td> <td>4校</td> <td>3校</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>10人</td> <td>170人</td> <td>46人</td> </tr> </tbody> </table>			令和2年度	令和3年度	令和4年度	小中学校	学校数	65校	52校	38校	人数	5,389人	4,316人	2,321人	高等学校	学校数	14校	20校	36校	人数	965人	2,346人	5,874人	専門学校等	学校数	1校	4校	3校	人数	10人	170人	46人
		令和2年度	令和3年度	令和4年度																													
小中学校	学校数	65校	52校	38校																													
	人数	5,389人	4,316人	2,321人																													
高等学校	学校数	14校	20校	36校																													
	人数	965人	2,346人	5,874人																													
専門学校等	学校数	1校	4校	3校																													
	人数	10人	170人	46人																													

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	・新型コロナウイルス感染拡大の影響が長期にわたっており、落ち込んだ観光需要の早期回復に向けた取り組みが喫緊の課題となっている。	課題	・新型コロナウイルス感染拡大の影響による入国制限などは緩和されたものの、インバウンドについてはコロナ禍以前と比べるとまだ回復途上となっている。今後は閑散期を始め更なる誘客促進や滞在促進に向けた取り組みが必要である。
今後(令和5年度以降)の方向性	・今後、旅行需要が少しずつ回復していくことを考慮すると、将来的にインバウンドを見据えつつも、国内観光需要を確実に取り込むことが重要と考えていることから、地域資源を活用した滞在観光の充実やリピーター層の確保のほか、ワーケーションなど新たな観光スタイルに対応した国内観光客誘致の取り組みを進めていく。	今後(令和6年度以降)の方向性	・観光協会をはじめとする関係団体や周辺自治体との連携を引き続き図るとともに、道内外の様々なイベント時において釧路エリアの多様な魅力を情報発信し、国内観光客のさらなる誘客促進を図る。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	海外観光客誘致事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部観光振興室
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第二期釧路市観光振興ビジョン 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	海外からの誘客促進を図るため、アジア地域を中心に地域の魅力を発信するとともに、観光関係団体と連携し、外国人観光客の誘客促進に向けた取り組みを進める。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		1,175	737	1,516
財源	一般財源 (千円)	1,175	737	1,516
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	5,654	5,632	5,772
①	職員数 (人)	0.8	0.8	0.8
参考	市民一人あたりの費用 (円)		4.6	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1) 年度当初計画	(2) 事業の実績と成果
<p>① 広域観光周遊促進事業</p> <p>・北海道のリピーターをターゲットとした、釧路根室地域における「新たな旅のスタイル」に対応した誘客促進事業を実施。</p> <p>○周遊バスおよび周遊モデルコースの造成</p> <p>○モニターツアーの実施及び検証</p> <p>○Googleマップ掲載情報の充実</p> <p>○多言語HPの掲載内容の充実</p>	<p>○周遊バスおよび周遊モデルコースの造成</p> <p>釧路空港と中標津空港を起点とし、リピーター向けとひがし北海道初来訪向けのルート構築とひがし北海道の観光施設や自然体験メニュー等が利用できる非接触型電子パスポート造成</p>   <p>○モニターツアーの実施</p> <p>・日時: 令和4年11月14日～17日</p> <p>・招聘者: 台湾市場に精通した旅行会社やメディア4社6名</p>   <p>◎Googleマップ掲載情報の充実</p> <p>・Googleマップへの掲載</p>  <p>◎多言語HPの掲載内容充実</p> <p>・食の情報発信</p>  <p>創業於西元1919年(大正8年)的釧路唯一酒窖。據說知名品牌「福司」為司掌福分之意，亦即蘊含了「欲成爲為飲者招福之酒」的願望於其中。主要以北海道產米為原料，以釧路大地所過濾後的伏流水作為釀酒用水，活用冷涼的氣候釀造的美味日</p>

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響に伴う入国制限、国際線の運休・減便などにより、外国人旅行者が大きく減少している。今後、アフターコロナを見据え、海外観光客の需要回復に向けた取り組みが求められている。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 入国規制が緩和され少しずつ訪日客が回復傾向にある中、これら観光客をいかにひがし北海道エリアに呼び込むかが鍵になる。今後は誘客促進のため、積極的な情報発信が求められている。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 訪日外国人観光客の受入再開とともに、観光関係団体と連携を図りながら、台湾をはじめとするアジア地域を対象に情報発信の充実や誘客促進事業の実施など、ひがし北海道エリアの周遊促進につながる取り組みを進めていく。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 訪日客の受け入れが徐々に戻りつつあることから、今まで以上に観光関係団体と連携を図りながら、コロナ禍前にもひがし北海道エリアで多くの割合を占めていた台湾をはじめとするアジア地域を対象に、情報発信を一層充実させ、訪日客のひがし北海道エリア周遊促進につながる取り組みを進めていく。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	観光情報発信提供事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部観光振興室
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第二期釧路市観光振興ビジョン 第二期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	釧路地域の観光情報発信や認知度向上に努め、釧路市への誘客促進を図ることを目的とする。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		33,335	16,971	6,323
財源	一般財源 (千円)	4,097	5,059	6,323
	国庫支出金 (千円)	29,238		
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)		11,912	
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	12,721	12,672	12,987
①	職員数 (人)	1.8	1.8	1.8
参考	市民一人あたりの費用 (円)		106.7	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人あたりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1) 年度当初計画	(2) 事業の実績と成果
<p>①クルーズ観光客観光情報提供事業 クルーズ客船で釧路を訪れる観光客に対して、釧路市内の観光情報の発信やおもてなしの充実、受け入れ体制の強化を図るため、インフォメーション及び国際交流サロンを開設する。</p> <p>②釧路・阿寒湖観光公式WEBサイトの管理運営 釧路・阿寒湖観光公式サイト「SUPER FANTASTIC Kushiro Lake Akan」の管理・運営と、国内外に向けた情報発信の強化を図る。</p> <p>③観光リーフレット作成 国内物産展や海外プロモーション等での配布を目的とした、主要観光スポットや交通等の情報を集約したマップやチラシを多言語で作成し、釧路地域の情報発信を図る。</p> <p>④デジタルプロモーション強化事業 台湾に対してデジタル広告を配信し、誘客促進へつなげるために情報発信を展開する。</p> <p>⑤アニメを活用した情報発信事業 アニメ「邪神ちゃんドロップキックX 釧路編」を活用し、釧路市の認知度向上や聖地巡礼による誘客につながる情報発信を展開する。</p>	<p>①クルーズ観光客観光情報提供事業 新型コロナウイルスの影響により、外国船籍のクルーズ客船は寄港中止。 日本船籍の船2隻が寄港したため、インフォメーションを2回開設、乗客へ観光情報の提供を実施した。</p> <p>②釧路・阿寒湖観光公式WEBサイトの管理運営 季節に応じた特集記事の作成や旬の観光情報を発信した。 ・R4年度:約311万ページビュー ・R3年度:約220万ページビュー</p>  <p>③国内物産展やJNTO海外事務所など国内外で配布し、釧路地域の情報発信を図ることができた。 ・EAST HOKKAIDO KUSHIRO日本語版、四カ国語パンフも作成した。</p> <p>④デジタルプロモーション強化事業 台湾の訪日関心層に向け、訪日旅行情報サイトにて釧路ページへ誘導するデジタル広告を配信し、観光情報発信を行った。※広告配信によるページ閲覧総数:32,346ページビュー (広告バナー掲出:6,597,898回)</p> <p>⑤アニメを活用した情報発信事業 ・邪神ちゃん声優を活用したイベントの実施 ・舞台マップの制作 (日本語版・英語版) ・釧路市版「まめアニメ」の制作・配信 ・ノベルティの制作 ・原画展の実施 等</p> 

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等


令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、旅行需要が落ち込んでいる状況の中で、旅行者のニーズや目的に応じた情報発信の強化が求められている	課題	・アフターコロナとなり旅行需要が高まる中、観光客のニーズや目的に応じた効果的な情報発信の手法・発信媒体を検討し、情報発信を強化していく必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	・コロナ禍においてSNSなどを活用した情報発信や、デジタルプロモーションによる誘客促進は効果が高く、落ち込んだ旅行需要の回復を図る上でも重要な手法の一つとなっている。コロナの影響により、旅行形態も変化していることから、これらの動向を把握し、ターゲットや旅行者のニーズに応じた効果的な観光情報の発信強化を進めていく。	今後(令和6年度以降)の方向性	・旅行形態の変化などに対応した観光客に関する動向を把握するとともに、マーケティング分析に基づく情報発信を実施し、誘客促進に繋げる取り組みを進める。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	観光施策推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部観光振興室
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第二期釧路市観光振興ビジョン 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	釧路市観光振興ビジョンは、目標指標を「経済波及効果」とする観光指針であり、経済波及効果調査の結果や観光情勢等の変化に即した実効性のある観光ビジョンにすることを目的に、現行の「第二期観光振興ビジョン(H28-R8)」の計画中期にあたる令和4年度・5年度の2カ年において中間見直しを行う。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>①第二期釧路市観光振興ビジョン中間見直し(令和4年度) 第二期釧路市観光振興ビジョンに掲載している各事業の進捗・評価及び、令和5年度における中間見直しに向けた課題の抽出とポイントの整理を行う。</p> <p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジョンに基づく観光施策の実施検証 ・計画策定時以降における観光情勢等の変化の分析 ・コロナ禍による影響把握 ・新たな課題の抽出等の基礎調査及び分析等 <p>【令和5年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジョンの検証・分析に基づく、具体的な観光戦略の策定 ・ビジョン中間見直し計画策定に必要なデータ収集・分析等 	<p>①第二期釧路市観光振興ビジョン中間見直し(令和4年度) ワーキング部会を2回開催し、各事業の進捗・評価及び令和5年度における中間見直しに向けた課題の抽出とポイントの整理を行うため報告書にまとめた。</p> <p>【ワーキング部会の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワーキング部会 座長 北海道大学公共政策大学院客員教授 (釧路市顧問) 小磯修二 委員 10名 釧路市 釧路観光コンベンション協会 阿寒観光協会まちづくり推進機構 阿寒アドベンチャーツーリズム株式会社 <p>・第1回 令和4年9月2日 (議題)ビジョン中間見直しの進め方について ビジョン中間見直しの方向性について</p> <p>・第2回 令和5年1月6日 (議題)観光関連事業者へのアンケート結果の報告 中間見直しの方向性・論点の検討について</p> <p>業務委託先:公益財団法人日本交通公社(JTBF)</p> <div style="text-align: center;">  <p>第二期釧路市観光振興ビジョン (計画期間:平成29年度・令和8年度)</p> </div>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費	総額 (千円)	0	2,416	10,621
財源	一般財源 (千円)	0	2,416	10,621
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	0	7,040	7,215
①	職員数 (人)		1.0	1.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		15.2	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等





令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="text" value="評価"/>		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="text" value="評価"/> <input type="text" value="継続維持"/>	
課題	令和4年度からの新規事業のため、空欄となります。	課題	・第二期ビジョン中間見直しにあたり、経済波及効果を高める観光施策の推進及びDMOや観光関係事業者との連携・推進体制の強化、財源の確保などが課題である。
今後(令和5年度以降)の方向性	令和4年度からの新規事業のため、空欄となります。	今後(令和6年度以降)の方向性	・第二期観光振興ビジョンの中間見直しを踏まえ、目標指標となる経済波及効果を高める観光施策について、DMOや観光関係事業者等との連携を図りながら、より一層推進していく。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	観光施策推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部阿寒観光振興課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 第二期釧路市観光振興ビジョン 釧路市都市経営戦略プラン/政策プラン
目的と概要	阿寒湖温泉地区の“個性を明確にし、付加価値を高めること”“環境への配慮を進めること”“国際的にも通用する質を高めること”を基本理念とする「ブランド化」と「地域活性化」の推進を目的として、同地区の観光まちづくり推進組織である「NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構」等へ補助金による支援を実施する。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>阿寒湖温泉ブランド・活性化事業 阿寒湖温泉及び周辺の地域において観光振興を通して地域活性化を図るため、NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構等に対し補助金による支援を実施する。</p> <p>①阿寒観光協会運営・経常事業補助金 ○観光案内所の運営 ○観光客誘致事業 ○観光振興イベントの開催</p> <p>②観光まちづくり重点戦略推進事業補助金 ○異国の森ブランド化事業 ○アウトドア基地化推進事業 ○花いっぱいプロジェクト事業 ○商店街活性化事業</p> <p>③阿寒湖温泉旅館組合観光客誘致事業補助金 ○遊ingリゾート阿寒誘致宣伝事業</p>	<p>阿寒湖温泉ブランド・活性化事業</p> <p>①阿寒観光協会運営・経常事業補助金 ○観光案内所の運営 ・阿寒湖温泉及び周辺観光地の案内を行い広域観光へ寄与利用者数:14,202人 ○観光客誘致事業 ・SNS等による情報発信により観光客誘致を実施。 ○観光振興イベントの開催 ・プロジェクションマッピングナイトなどの新イベント実施</p> <p>②観光まちづくり重点戦略推進事業補助金 ○異国の森ブランド化事業 ・スイスや台湾などの海外事業者へPR実施 ・修学旅行誘致に向けた国内事業者へのPR実施 ・エージェント、メディアへのPRのためひがし北海道観光素材説明会や大北海道祭へ参加 ・国内プロモーション活動用小冊子「イランカラプテ」を作成 ○アウトドア基地化推進事業 ・ATWSスイスルガーノへ参加 ・モニターツアーの実施 ・双眼鏡やフィールドスコープなどのATツールの整備 ○花いっぱいプロジェクト事業 ・シーニックバイウェイに連動した花による温泉街の美化活動の推進、花苗等供給システム構築等を継続・推進 ○商店街活性化事業 ・前田一歩園財団提供の間伐材を活用した木彫作品制作、釧路市生涯学習センター及びまりむ館内にて展示会実施</p> <p>③阿寒湖温泉旅館組合観光客誘致事業 ・冬のロングランイベント「冬華美」による観光客誘致を実施 ・各種イベントの宣伝広告による観光客誘致を実施</p>
 <p style="text-align: center;">観光案内所</p>	
 <p style="text-align: center;">小冊子「イランカラプテ」</p>	
 <p style="text-align: center;">プロジェクションマッピングナイト</p>	 <p style="text-align: center;">冬華美</p>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		54,078	54,078	44,196
財源	一般財源 (千円)	54,078	54,078	44,196
	国庫支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考 職員人件費 (千円)		707	704	722
① 職員数 (人)		0.1	0.1	0.1
参考 市民一人あたりの費用 (円)			340.1	
② 市民一人あたりの将来負担額 (円)			0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	・新型コロナウイルスの感染防止対策や地域の魅力づくり等、顧客ニーズや旅行形態等の変化への対応	課題	・コロナ禍からの早期回復を図るため、国内、海外観光客の回復に向けたプロモーションや地域の受入環境が不足。
今後(令和5年度以降)の方向性	・新型コロナウイルスの感染防止対策や地域の魅力づくり等、顧客ニーズや旅行形態等の変化に対応した選ばれる観光地づくりを推進	今後(令和6年度以降)の方向性	・コロナ禍からの早期回復を図るため、国内や、東アジア、東南アジアを中心とした海外旅行者に対するプロモーション及び地域における受入環境の整備を推進。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	阿寒地域活性化事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	阿寒町行政センター地域振興課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 釧路市観光振興ビジョン
目的と概要	阿寒丹頂の里エリア内の施設等の整備を推し進め 充実を図るとともに、積極的な情報発信と誘致活動 を行い、魅力ある日中滞在型道の駅を目指し、阿 寒地区の地域活性化に取り組むもの。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		0	9,538	6,592
財源	一般財源 (千円)	0	5,938	6,592
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)		3,600	
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	8,480	8,448	8,658
①	職員数 (人)	1.2	1.2	1.2
参考	市民一人あたりの費用 (円)		60.0	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		22.6	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>○釧路市阿寒丹頂の里エリア活性化総合支援業務委託の実施</p> <p>令和3年度で示した今後のあり方の方針及び検討内容の具体的な実行に向け、管理運営に係る経営改善と施設のリニューアルを推進する。</p>	<p>◎釧路市阿寒丹頂の里エリア活性化総合支援業務委託の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営コンサルタントである株式会社船井総合研究所より、管理運営に係る経営改善に向けた支援を受けながら、事業展開に取り組んだ。 ・物販部門における訴求効果が高い商品陳列及びPOP展開等による売場改善 ・飲食部門における相見積もりの実施や仕入れ食材及び提供メニューの見直しによるコストカットに向けた検討 等 ・有料の快適な車中泊スペース(RVパーク)を整備することで、新たな顧客を創出するとともに、施設での消費行動につながる仕組みづくりを実施した。

【RVパーク利用実績】

令和4年度				
月	台数	人数	備考	
7	179	382	7/13オープン (電源有5区画、電源無5区画)	
8	317	683	電源無9区画を増設 (電源有5区画、電源無14区画)	
9	306	563		
10	157	295		
11	40	72	冬期間(11月～3月) 試験的に開設実施	
12	28	50		
1	55	106		
2	62	88		
3	56	98		
計	1,200	2,337		

【RVパーク】



3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="text" value="評価"/>		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="text" value="評価"/> <input type="text" value="継続維持"/>	
課題	評価を実施していないため、空欄となります。	課題	・丹頂の里エリア内にある各施設の魅力向上を図り、集客及び収益増につながる効果的な施策の展開
今後(令和5年度以降)の方向性	評価を実施していないため、空欄となります。	今後(令和6年度以降)の方向性	・丹頂の里エリアの今後のあり方方針に基づき、管理運営に係る経営改善に努めるとともに、ソフト施策とハード整備を組み合わせ事業展開していく。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	阿寒町自然休養村施設整備事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	阿寒町行政センター地域振興課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 釧路市観光振興ビジョン
目的と概要	サイクリングターミナル・丹頂の里保養センター及び自然休養村施設は、市民及び公衆の保養機会の拡充を図り、市民の福祉に寄与すること、市民サービスの向上に努めることを目的としているが、各施設・設備の老朽化が著しく補修が必要である。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		0	82,344	13,573
財源	一般財源 (千円)	0	2,844	13,573
	国庫支出金 (千円)		7,500	
	地方債 (千円)		71,000	
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)		1,000	
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	1,413	1,408	1,443
①	職員数 (人)	0.2	0.2	0.2
参考	市民一人あたりの費用 (円)		517.8	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		446.5	
注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人あたりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>○野営場関連工事の実施 (炊事場・バンガロー・遊歩道木橋改修工事、トイレ除却工事) 経年により劣化した外壁や屋根、遊歩道木橋について、補修塗装等改修工事を実施するもの。また、老朽化の著しい野営場トイレの除却工事を実施するもの。</p> <p>○地域資源活用工房関連工事の実施 (工房・トイレ他改修工事、浄化槽更新工事、授乳スペース新設) 経年により劣化した工房の外壁等の補修塗装、トイレの改修工事を行うとともに、脱炭素化の推進に係る浄化槽の更新を実施するもの。また、授乳スペースを新設し、子育て家庭の利用の充実を図るもの。</p>	<p>◎野営場関連工事の実施 経年による劣化箇所の改修を実施することで、施設・設備を延命化するとともに、来場者が快適に利用できるものとなった。また、老朽化した野営場トイレを除却し、地域資源活用工房内トイレでの一元管理化を実施した。</p> <p>◎地域資源活用工房関連工事の実施 経年による劣化箇所の改修を実施するとともに、トイレの改修工事により、利用者はより清潔なトイレを利用できるものとなった。また、授乳スペースの新設により、子育て家庭のニーズに応えられるものとなった。</p> <p>【野営場】炊事場・バンガロー</p>   <p>【地域資源活用工房】トイレ・授乳室</p>  

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="text" value="評価"/>		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="text" value="評価"/> <input type="text" value="継続維持"/>	
課題	評価を実施していないため、空欄となります。	課題	<ul style="list-style-type: none"> 施設等の老朽化による修繕対応 施設の設備更新
今後(令和5年度以降)の方向性	評価を実施していないため、空欄となります。	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者と連携し、施設等の適正な管理と、更なる充実を図る。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	空き店舗等活用促進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部商業労政課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	釧路市内の空き店舗等の活用促進及びまちの賑わい創出を目的として、空き店舗等に出店する中小企業者等を対象に、店舗の改装等に係る経費に対し補助金による支援を行う。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果																			
<p>①対象経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店舗改装費 ・広告宣伝費 <p>②限度額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・費用の2分の1以内で20万円 ・北大通を中心とした商業地域は50万円 <p>③対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業者、協同組合等、商店街及びNPO法人 <p>④対象業種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本標準産業分類に定める小売業、 ・飲食業及びサービス業(一部、対象外業種あり) <p>⑤対象地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・釧路市内にある商店街振興組合が定款に定める地区 ・釧路圏都市計画における商業地域及び近隣商業地域内 <p>⑥対象店舗</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1階に店舗専用の出入口が設置されていること ・店舗の移転ではないこと (店舗面積が2倍以上になる事業拡大及び移転を余儀なくされるやむを得ない事由によるものを除く) 	<p>○補助実績 3件 1,310千円 〔 500千円×2件 310千円×1件 〕</p> <p>【補助実績の内訳】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">対象業種</th> </tr> <tr> <th>小売業</th> <th>飲食業</th> <th>サービス業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北大通を中心とした商業地域 (補助限度額 500千円)</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>その他の対象地域 (補助限度額 200千円)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎空き店舗の活用が図られた。</p>	区分	対象業種			小売業	飲食業	サービス業	北大通を中心とした商業地域 (補助限度額 500千円)	1	2	0	その他の対象地域 (補助限度額 200千円)	0	0	0	合計	1	2	0
区分	対象業種																			
	小売業	飲食業	サービス業																	
北大通を中心とした商業地域 (補助限度額 500千円)	1	2	0																	
その他の対象地域 (補助限度額 200千円)	0	0	0																	
合計	1	2	0																	

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		2,072	1,310	3,100
財源	一般財源 (千円)	2,072	1,310	3,100
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	707	704	722
①	職員数 (人)	0.1	0.1	0.1
参考	市民一人あたりの費用 (円)		8.2	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた空き店舗活用が期待される。 ・営業形態の多様化が進み、且つ「賑わい」の考え方も変化している。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・アフターコロナを見据えた空き店舗活用が期待される。 ・営業形態の多様化が進み、且つ「賑わい」の考え方も変化している。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗等のさらなる活用と賑わい創出において、制度のあり方を検討しつつ令和5年度以降も継続実施していく。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗等のさらなる活用と賑わい創出において、制度のあり方を検討しつつ令和6年度以降も継続実施していく。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	商工会・商店街等活性化支援事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部商業労政課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	商工会・商店街等のイメージアップや競争力強化、商業地域の賑わいを創出する事業に対し、当該事業に要する経費の一部を予算の範囲内で補助することにより、商工会・商店街等の活性化を図ることを目的とする。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>○ 商工会・商店街等活性化支援事業補助金の交付 ・当初予算 2,450千円</p> <p>【制度概要】</p> <p>①補助対象事業 ア 調査・イベント事業等 イ 商店街等が行う軽微な環境整備事業</p> <p>②補助対象団体 ア 商店街等(商店街振興組合、商店街振興組合連合会、特定の事業協同組合、商店街振興組合連合会加盟の商店会) イ 商工会 ウ 前記ア・イの組織が中心となり事実上運営する実行委員会など</p> <p>③補助金の額 ア 商工会、商店街等が行う事業 事業費の2分の1以内(上限20万円) イ 商店街振興組合連合会が行う事業 事業費の2分の1以内(上限50万円)</p>	<p>○ 商工会・商店街等活性化支援事業補助金の交付 ・補助実績 8件 1,780千円</p> <p>【対象事業別実績】</p> <p>ア 調査・イベント事業等 ・商店街振興組合 3件 565千円 ・商店会 1件 200千円 ・実行委員会(商工会) 1件 200千円 ・商店街振興組合連合会 1件 476千円</p> <p>イ 商店街等が行う軽微な環境整備事業 ・商店街振興組合 1件 139千円 ・商店会 1件 200千円</p> <p>◎ 商店街等の集客力向上や賑わい創出に繋がった。</p>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
財源	事業費 総額 (千円)	1,228	1,780	2,450
	一般財源 (千円)	1,228	0	2,450
	国庫支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)		1,780	
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	707	704	722
①	職員数 (人)	0.1	0.1	0.1
参考	市民一人あたりの費用 (円)		11.2	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持	
課題	・人口減少、電子商取引の拡大など、地域経済の構造変化により、商店街等に求められる機能が変化している。	課題	・人口減少、電子商取引の拡大など、地域経済の構造変化により、商店街等に求められる機能が変化している。 ・組合員数の減少、高齢化により活動が停滞している商店街も見られる。
今後(令和5年度以降)の方向性	・競争力強化や集客力向上に加え、新たな機能付加につながる支援策について検討する必要がある。	今後(令和6年度以降)の方向性	・競争力強化や集客力向上に加え、新たな機能付加につながる支援策について検討する必要がある。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	中小企業振興資金貸付対策事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部商業労政課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 釧路市中小企業振興条例
目的と概要	中小企業の安定した経営とその基盤の強化などに要する資金の円滑な供給を図るため、中小企業等に対し低利融資のあっせんを行う。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画			(2)事業の実績と成果			
○ 釧路市の融資制度概要						
貸付金の種類	融資限度額	金利	用途			
丸創資金	5,000万円	1.3%	経営合理化、設備の近代化等に充てるもの			
創業支援資金	1,500万円	4年目以降1.3%	創業に係る運転資金または設備資金に充てるもの			
がんばる企業応援資金	5,000万円	4年目以降1.3%	事業の拡大、新分野への進出、経営・事業の効率化・近代化に充てるもの			
空き地・空き建物再生事業資金	1億円	4年目以降2.1%	空き地・空き建物の再生を図るための設備資金に充てるもの			
中小企業経営安定資金	500万円	0.8%	小規模事業者等の経営の安定化に充てるもの			
中心市街地活性化事業資金	2億円	4年目以降2.1%	建物の新設等や、賃貸用集合住宅建物の建設事業に充てるもの			
高度化事業資金	5,000万円	1.3%	北海道から貸付を受ける高度化事業に充てるもの			
協同組合等事業資金	5,000万円	1.3%	組織金融の円滑化または協同事業資金に充てるもの			
○ 新規融資利用計画			○ 新規融資利用実績			
貸付金の種類		融資枠想定金額	貸付金の種類		件数	金額
丸創資金		1,036,260 千円	丸創資金		116 件	1,274,185 千円
創業支援資金		246,878 千円	創業支援資金		52 件	194,490 千円
がんばる企業応援資金		212,856 千円	がんばる企業応援資金		14 件	256,000 千円
その他資金		30,000 千円	その他資金		3 件	74,000 千円
合計		1,525,994 千円	合計		185 件	1,798,675 千円
○ 年度末全融資合計残高の推移						
		元年度	2年度	3年度	4年度	
件数		818件	606件	556件	547件	
残高金額		54.7億円	36.9億円	33.1億円	33.1億円	

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		2,286,942	1,980,284	2,676,761
財源	一般財源 (千円)	13,659	11,498	16,641
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
		2,273,283	1,968,786	2,660,120
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	6,360	6,336	6,494
①	職員数 (人)	0.9	0.9	0.9
参考	市民一人あたりの費用 (円)		12,453.5	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人あたりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持	
課題	・ 低金利の長期化及びいわゆる「ゼロゼロ融資」の利用増により、丸創融資の利用実績が低下したものの、創業支援資金など積極的な融資実績が増加傾向にある。	課題	・ 事業者や創業者が融資の用途が多様化しており、現行の制度では利用できない事業者がいる。また、経営者層の高齢化に伴い、事業承継需要が高まってくると思われるが、その際にも融資の利用が可能であることの周知不足。
今後(令和5年度以降)の方向性	・ 3年間の利子補給があるなど有利な制度融資がそろっていることから、事業者へ情報が届くよう、「ピズサボくろ」を活用するなど積極的な情報発信を行う。	今後(令和6年度以降)の方向性	・ がんばる企業応援資金等の対象者要件を見直し、多様な事業者が利用できる制度に更新していく。 ・ 事業承継時にも対応可能な融資があることを、金融機関を中心に事業者へも周知を行う。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	中小企業・小規模事業者活性化推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部商業労政課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 釧路市創業支援事業計画
目的と概要	地域経済のプラス成長と雇用の創出を図るため、中小企業・小規模事業者の自立的・自主的な努力を前提として、成長発展を目指す取組に対し、「釧路市創業支援事業計画」に基づきワンストップ相談窓口を設置するほか、段階に応じたきめ細やかな支援を行い、中小企業・小規模事業者の「稼ぐ力」の強化を図る。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1) 年度当初計画	(2) 事業の実績と成果
<p>①各支援機関と連携したワンストップ相談窓口の設置・運用 ・創業の準備機関から成長段階まで、事業者のステージに応じた相談に対応し、連携する創業支援機関への接続を行う。 ・創業支援対象者数(目標):46件(延べ) ・創業者数(目標):5件</p> <p>②情報提供の充実 ・市内での創業を考える潜在的な創業者や中小企業・小規模事業者向けのセミナー情報や補助金等の支援制度の情報を掲載するポータルサイト「ビズサポくしろ」やSNS、LINEを運用し情報発信を行う。「ビズサポくしろ」URL(https://www.bizkushiro.jp/)</p> <p>【ビズサポくしろ トップ画面】</p> 	<p>①各支援機関と連携したワンストップ相談窓口の設置・運用 ・市職員と創業支援機関とが連携を行い、以下の成果を得た。</p> <p>◎創業支援対象者数(実績):26件(延べ) ◎創業者数(実績):1件</p> <p>②情報提供の充実 ・ポータルサイト「ビズサポくしろ」の運用によるセミナー情報や補助金等の支援制度の情報発信。 ◎ビズサポくしろ ・投稿件数 55件 ・ページ閲覧数 16,322件(延べ) 【投稿事例】</p> 

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
財源	事業費 総額 (千円)	753	643	20,693
	一般財源 (千円)	503	393	443
	国道支出金 (千円)	250	250	250
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			20,000
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	707	704	722
①	職員数 (人)	0.1	0.1	0.1
参考	市民一人あたりの費用 (円)		4.0	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口		159,014人(R5.3末現在)		
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。	<input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持	該当する自己評価結果をリストから選択してください。	<input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充
課題	<ul style="list-style-type: none"> ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた事業展開を前向きに検討する気運が高まる中で、創業者への支援制度の周知方法について、k-Bizをはじめ創業支援機関と連携の上、更なる充実を図る必要がある。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ワンストップ相談窓口については、令和5年度に開始するスタートアップ人材創出支援事業やk-Bizをはじめ創業支援機関と連携の上、創業・スタートアップの創出支援や創業者への支援制度の更なる充実を図る必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 「ビズサポくしろ」への記事掲載や、twitterなどのSNSによる情報発信に加え、登録者へのメール配信やLINEを充実させることで、中小企業・小規模事業者及び創業者準備者への情報発信を強化する。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ビズサポくしろについては、原油高・物価高騰対策などの記事掲載や原油高・物価高騰対策として中小企業・小規模事業者や創業準備者への支援制度を検討するほか、各支援制度などについて情報発信力の強化にも努める。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	ビジネスサポートセンター事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部商業労政課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	中小企業等の「稼ぐ力」を強化することで、地域経済のプラス成長と雇用の創出を図ることを目的に、相談者の「売上増」に重点を置いた支援を行う、釧路市ビジネスサポートセンターk-Bizを運営する。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>①主な取組</p> <p>ア)個別経営相談事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回60分を目安とした対話形式 ・価値を見出し、強みを生かした売上増加策を提案 ・bizモデル創始者小出宗昭氏を招聘した個別相談会の開催 <p>イ)各種セミナー等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業、創業希望者、学生等の課題解決や意識啓発に係るセミナーの開催 <p>ウ)各種連携事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談者とk-Biz間、相談者同士のマッチング、コラボレーションによる各種連携事業を適宜実施する。 ・全国Biz連携ネットワークをはじめ、他都市Biz等との連携による機能向上を図る。 	<p>①主な取組</p> <p>ア)個別経営相談事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新規予約申込数 145社 ◎相談件数(のべ) 2,026社 ◎相談者アンケートの回答(n=98) <ul style="list-style-type: none"> ・「相談により良い変化があった」 83.7% ・「相談により売上があがった」 26.0% ・「相談により雇用が増えた」 18.8% ◎メディア掲載件数 <ul style="list-style-type: none"> ・新聞 112件、テレビ6件 ○小出氏による個別相談会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・7月8日 5件 <p>イ)各種セミナー等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自らも前科者の経営者が語る 出所者の雇用 日時:10月29日(土) 参加者数:23名 講師:株式会社ドリームジャパン 代表取締役 長原 和宣 氏 ○トップアスリートから学ぶ 起業家精神 日時:11月5日(土) 参加者数:22名 講師:元プロ野球選手・野球指導者 副島 孔太 氏 ○2022年日経MJ ヒット商品番付から読む消費のトレンド・未来 日時:12月10日(土) 参加者数:5名 講師:日本経済新聞社 編集局編集委員 田中 陽 氏 <p>ウ)各種連携事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○北海道経済産業局との連携 k-Biz入口に経済産業省施策コーナーとして資料ラックを用意し、各種パンフレットを設置 ○全国Bizネットワークによる他Bizとの連携 <ul style="list-style-type: none"> ・3月17日全国Biz研修会を開催 全国のBizモデルセンター長、副センター長等20名参加 k-Bizの優良事例の紹介や小出宗昭氏による講義 Bizモデル全体でのレベルアップを図った

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		37,619	44,290	48,068
財源	一般財源 (千円)	18,778	13,732	12,273
	国庫支出金 (千円)	18,741	22,058	23,818
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)	100	8,500	11,977
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	12,721	12,672	12,987
①	職員数 (人)	1.8	1.8	1.8
参考	市民一人あたりの費用 (円)		278.5	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持	
課題	・アンケート結果から、事業者支援の役割を果たしているものと認識しており、継続実施の予定。一方で、財源としている地方創生推進交付金に係る計画は令和5年度までであり、それ以降の財源確保が課題である。	課題	・アンケート結果から、事業者支援の役割を果たしているものと認識しており、継続実施の予定。一方で、財源としている地方創生推進交付金に係る計画は令和5年度までであり、企業版ふるさと納税等による財源確保が課題である。
今後(令和5年度以降)の方向性	・企業版ふるさと納税等の活用など財源の検討を行う。	今後(令和6年度以降)の方向性	・引き続き企業版ふるさと納税の活用等による財源確保を行う。







令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	IoT推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部産業推進室
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	あらゆる機械や製品にセンサーや通信機能を搭載し、ネットワーク上でつなぐIoTを推進するため、自治体や地元企業がチームを組んで課題解決に取り組む経済産業省主導のプロジェクト「地方版IoT推進ラボ」に選定された、「釧路市IoT推進ラボ」に対して支援を行う。 人材育成、地域におけるIoT普及促進、企業との共同研究等を柱としており、IoTにより地域課題の解決に資するため、シーズを持つ企業との連携、事業化に向けた実証試験等を行っている。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		1,224	659	2,300
財源	一般財源 (千円)	612	329	1,150
	国道支出金 (千円)	612	330	1,150
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考 職員人件費 (千円)		3,534	3,520	3,608
① 職員数 (人)		0.5	0.5	0.5
参考 市民一人あたりの費用 (円)			4.1	
② 市民一人あたりの将来負担額 (円)			0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1) 年度当初計画	(2) 事業の実績と成果
<p>① 人材育成・地域におけるIoT普及促進事業 ・「IoTハッカソン」開催助成 地域の課題を考え、解決に資するシステムをその場で開発する場として釧路市内で開催されるハッカソンの開催経費を一部支援。</p> <p>② 地域の課題解決に資するIoT等の活用取組支援 ・地域の課題解決に資するIoT等の活用推進(課題抽出・計画立案・実証実験等)の取組を支援する。市内企業によるIoT等の実装を進め、新たな産業の創出や生産性の向上を図る。</p>	<p>① 人材育成・地域におけるIoT普及促進事業 ・「IoTハッカソン」開催助成 新型コロナウイルス感染症拡大の状況を注視しながら実施時期を模索していたが、体制が整わず開催を断念することとなった。</p> <p>② 地域の課題解決に資するIoT等の活用取組支援 (ア) 中小企業IoT導入(スモールスタートモデル形成事業)補助事業 中小企業のIoT導入を支援し、モデル事例を形成することにより、多くの事業者への導入促進を図ることを目的に2事業者の取組を支援。 (a) クラウドを活用した工事現場の生産性向上事業    (b) コミュニティスペース「港まちベース946BANYA」会員利用者管理   </p> <p>(イ) LPWA (ELTRES) を活用した取組 (a) 児童見守り・連絡帳サービス(ここまる)の実証実験 児童の登下校時の安全・安心を確保するため「ここまる」アプリを活用した学校と保護者間の連絡帳サービス、GPS見守り、登下校通知について、市内小学校の協力を得て実施。 (b) 放牧管理システム実証実験 牛個体に首輪センサを取り付け、発情や異常等を検知することにより、牧場業務の効率化・省エネ化につなげることを目的に実施。 ※(a)・(b)ともに事業者判断により令和4年度をもって実証実験終了となった。</p>

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> IoTを活用した、事業者の経営改善の取組や市民生活の向上に資する具体の事例、知見の蓄積及び情報発信の強化が必要。 IoTハッカソンで提案されたアイデアから社会実装した取組事例が創出されたものの、広く活用されていない。 当市におけるLPWAの商用サービスが開始されておらず、実用事業に着手されていない。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> IoTやデジタル技術を活用した事業者の経営改善の取組や市民生活の向上に資する具体の事例、知見の情報発信が不足しており、事業者のデジタル活用の意向を高められていない。 当市におけるLPWAの商用サービスが開始されておらず、実用事業に着手されていない。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> IoTスモールスタートモデル形成事業を継続し、事例を取りまとめ、他の市内事業者の業務改善、生産性向上を推進する。 IoT推進ラボの取組を支援し、ビジネス創出や経営力向上を図る。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> IoTスモールスタートモデル形成事業の成果等の情報発信について、市内事業者の理解と取組を促すような効果的な内容と方法を検討して実施する。 新たにDX等の機運が高まっているので、DX推進ラボ(旧:IoT推進ラボ)の地域企業DX支援やデジタル人材育成等の取組を支援し、市内事業者の生産性向上、業務効率化を図る。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	新産業創造等推進事業<当初><12月補正>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部産業推進室
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	新産業創造に向けた各種調査等の実施

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
(1)新たな産業創出に向けた各種調査等の実施	(1)新たな産業創出に向けた各種調査等の実施 ・旅費 11件 615,750円(視察・打ち合わせ等) (2)完全閉鎖型陸上養殖事業の実証試験 (2カ年事業の1年目) ・事業主体:(株)ウイルステージ ・総事業費:41,930千円 (令和4年度17,158千円、令和5年度24,772千円) ・補助金 :27,952千円(補助率2/3) (令和4年度11,438千円、令和5年度16,514千円)
	 <p>▲孵化後2〜3カ月のシロサケ(約8cm程)</p>
	 <p>▲日本製紙(株)釧路事業所内倉庫の大型水槽</p>
	◎近年、環境変化等から、原魚の安定確保に課題がある釧路市の水産加工業の課題解決に繋がる可能性のある取組として、本陸上養殖事業に取り組むことができた。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		0	12,054	21,299
財源	一般財源 (千円)	0	11,438	21,299
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)		616	
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	0	4,224	4,329
①	職員数 (人)		0.6	0.6
参考	市民一人あたりの費用 (円)		75.8	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="text" value="評価"/>		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="text" value="評価"/> <input type="text" value="継続維持"/>	
課題	令和4年度からの新規事業のため、空欄となります。	課題	<ul style="list-style-type: none"> 実証試験や市への進出案件など、事業や相手方によって、一気に進展する場合があることから、当初予算で対応できないケースも想定される。その際には、補正予算も視野に入れ、より進展可能性が高くなる取組方法が必要となる。 日本製紙(株)釧路工場跡地活用の検討。
今後(令和5年度以降)の方向性	令和4年度からの新規事業のため、空欄となります。	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 地域産業の活性化及び地域の課題解決に向け、新たな産業創出に繋がるよう各種取組を継続する。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	地場産品普及促進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部産業推進室
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	地場産品の普及促進、販路開拓に向けたPR活動などに加え、釧路管内の生産者・流通業者・支援団体等で構成される「地産地消くしろネットワーク」を支援することで、地元への愛着心を高めることに努めながら、「質のいい消費やサービスを地元で育て地元で消費」する地産地消の取組を推進する。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
①地元における地産地消イベントへの参加・実施	①地元における地産地消イベントへの参加・実施 ◎イベント参加回数1回 (R3年度:新型コロナウイルス感染拡大によりイベントなし)
②地産地消親子イベントの実施	②地産地消親子体験イベントの実施 ◎実施回数1回(R3年度:1回)
③地場産品料理教室の実施	③地場産品料理教室の実施 ◎実施回数1回 (R3年度:新型コロナウイルス感染拡大によりイベントなし)
④人材育成事業 ・地産地消についての出前授業(生涯学習まちづくり出前講座、生産者系出前授業)の実施	④人材育成事業 ◎地産地消についての出前授業の実施 ・生涯学習まちづくり出前講座 4件・75人(R3年度:1件・32人) ・生産者系出前授業 18件・770人(R3年度:26件・1,331人)
⑤地域外での販路開拓に向けた支援	⑤地域外での販路開拓に向けた支援 ◎ホテルでの釧路フェア(札幌市) R4年度:1回(R3年度:1回)
⑥地産地消活動に対する支援	⑥地産地消活動に対する支援 ◎SNSにおける情報発信 フェイスブック 新規投稿79件、シェア53件 (R3年度:新規投稿60件、シェア15件) Instagram(R5.1月から) 新規投稿9件 ◎SNSを活用したPRイベントの実施 2回(R3年度:2回) ◎地元飲食店等に対する情報収集に向けた検討



▲釧路フェア



▲地産地消親子体験イベント



▲イベント「パプリカの日」

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		504	504	780
財源	一般財源 (千円)	504	0	780
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)		504	
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	7,067	7,040	7,215
①	職員数 (人)	1.0	1.0	1.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		3.2	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 生産者や企業と消費者を繋ぐ継続した取組が必要である。 地場産品の認知度を上げるためフェイスブックの活用など、効果的な情報発信の充実が必要である。 域外への地場産品の認知度向上を行うため、宿泊施設等で釧路フェアイベントを継続して行っていく必要がある。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 生産者や企業と消費者を繋ぐ継続した取組が必要である。 地場産品の認知度を上げるために協力企業と連携し、効果的にSNSを活用するなど、情報発信の充実が必要である。 域外への地場産品の認知度向上を行うため、食材の調達や活用方法などの調整をし、宿泊施設等で釧路フェアイベントを継続して行っていく必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 各種事業を実施するなど地産地消の取組を推進するとともに、引き続き「買ってもらう取組」「消費者と企業を繋ぐ取組」をすすめる。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 各種事業を実施するなど地産地消の取組を推進するとともに、引き続き「買ってもらう取組」「消費者と企業を繋ぐ取組」をすすめる。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	販路開拓支援事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部産業推進室
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	地域経済の活性化には地元企業の売上増進が必要不可欠であることから、関係機関と共に、市場情報を収集し地元企業に積極的に提供すること、販路開拓に向けた地場産品の情報集約、企業訪問による課題の把握や解決支援及び商談会への出展支援等に連携して取り組み、販路開拓を支援する。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		934	1,178	1,813
財源	一般財源 (千円)	521	642	962
	国道支出金 (千円)	413	536	761
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			90
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	7,067	7,040	7,215
①	職員数 (人)	1.0	1.0	1.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		7.4	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>① 販路開拓の基礎構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業訪問による、地場産品及び企業の情報集約と、課題の把握及び解決支援。 市の事業において繋がりのあるバイヤーなどに対して、地場産品情報を提供し、販路開拓を支援する。 <p>② 商談会出展支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携した域外の商談会出展支援。 <p>③ 小売との商談会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 首都圏等に複数店舗を有する高質小売店及びECサイト運営事業者と地域との商談会開催。 	<p>① 販路開拓の基礎構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業訪問等を通じて企業が抱える課題や強み等の聞き取りを行った(33社)。 企業訪問等を通じて作成した商品情報シートを元に、商談会等販路開拓を支援した。 <p>② 商談会出展支援</p> <p>【関係機関と連携した域外商談会出展支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「スーパーマーケット・トレードショー」(北洋銀行連携) R5.2 千葉県、出展企業:1社 <p>【市内商談会開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「卸売キャラバン隊商談会in釧路」開催(札幌市連携) R4.11 釧路市、出店企業:7社、商談76件   <p>③ 首都圏小売及びECサイト運営事業者との商談会開催 (釧路市、釧路商工会議所、釧路信用金庫主催)</p> <p>R5.1 釧路市、参加企業:11社、商談件数42件。</p>  

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 域外での販路開拓のため、市内事業者と首都圏バイヤーとの関係を深化させる継続的な支援が必要である。 有事においても安定的な営業を行えるよう、多様な販売チャネルを構築したが、トレンドを捉えながら更なる販路の確保が重要である。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 域外での販路開拓のため、市内事業者と首都圏バイヤーとの関係を深化させる継続的な支援が必要である。 事業者に対してより効果的な金融機関・関係機関との連携の在り方について検討が必要である。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 企業訪問などを通じて、継続的に支援ニーズを把握し、多様な商談機会の創出など支援機関等と共に販路開拓に向けた支援を行う。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 企業訪問などを通じて、継続的に支援ニーズを把握し、金融機関や関係機関と連携した、効果的で多様な商談機会の創出を模索し、地域の販路開拓に向けた支援に取り組む。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	中小企業育成強化促進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部産業推進室
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	釧路工業高等専門学校の学生に、地域の企業(技術)を学びながら、柔軟な発想を生かしたPR動画(3~5分程度)を作成してもらい、学生の育成及び地元就職、企業のPRに活用するものとする。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
①企業PR動画の製作 ・釧路工業高等専門学校の学生との連携により、優れた技術を持つ地元企業のPR動画を製作する。	①企業PR動画の製作 ・釧路工業高等専門学校専攻科1年生6名の協力のもと、地元企業2社のPR動画を作成した。 実施企業:北泉開発(株)、アカム木工(株) ◎当事業を通じて、釧路工業高等専門学校の学生が、地元企業の魅力や優れた技術に触れることにより、地元企業への理解を深めることができた。
	 <p style="text-align: center;">▲北泉開発(株)PR動画切り抜き画像</p>  <p style="text-align: center;">▲アカム木工(株)PR動画切り抜き画像</p>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費	総額 (千円)	0	24	120
財源	一般財源 (千円)	0	24	120
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	7,067	7,040	7,215
①	職員数 (人)	1.0	1.0	1.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		0.2	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果					
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 10px;"> <tr> <td>評価</td> <td>継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持	該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 10px;"> <tr> <td>評価</td> <td>継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持
評価	継続維持						
評価	継続維持						
課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度は事業を実施できなかったが、運営体制については目途がついていることから、令和4年度実施に向けて準備をする。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度以降は教員の入れ替え等で学校側の運営体制が整わず、同体制での継続実施が困難であることから、新たな実施主体での事業実施を検討する必要がある。 				
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 釧路工業高等専門学校の学生に地元企業の持つ魅力や優れた技術力を知ってもらい、地元企業への技術貢献、就職に繋がる取り組みとなるよう事業を推進していく。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 地元企業の持つ魅力や優れた技術力を知ることができ、地元企業への技術貢献、就職に繋がる取り組みであることから、引き続き事業を推進するとともに、新たな実施主体での事業実施も検討する。 				

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	ふき紙普及促進事業＜当初＞
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	音別町行政センター地域振興課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	音別地域の特産品である落の皮を原料とした全国的にも珍しい和紙「富貴紙」の文化継承普及促進を図るため、増産に向けた人員体制の強化を行い、地場産業の振興及び雇用の場の拡大(確保)など地域の活性化を図ることを目的とする。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
①製造設備の充実	①製造設備の充実 ・富貴紙製造場所が音別地域交流拠点施設に移設したことにより量産が可能となったことから、前年度と比べて倍以上の生産を達成することができた。
②和紙職人及び経験者による人材の育成	②和紙職人及び経験者による人材の育成 ・札幌市で工房を営んでいる和紙職人から、製造技術及び品質の向上に向けた指導、助言を受け、和紙製造を担う人材の育成を図った。
③普及促進のための体験会などの開催	③普及促進のための体験会などの開催 ・釧路市内にて体験講習会(計5回)を開催した他、札幌市内においても、富貴紙を中心とした音別特産品PRイベントを開催し、富貴紙の普及促進を図った。
④ふき紙製品の販路拡大	④ふき紙製品の販路拡大 ・富貴紙製品のPR、販路拡大に向けた取り組みを行った結果、新たに市内2箇所での販売開始に至り、これまでの販売店舗と合わせ、市内10箇所、札幌市1箇所の販売店舗における富貴紙製品の取扱いにつなげることができた。
⑤ふき紙製品の開発	⑤ふき紙製品の開発 ・自身で製作する体験キットとして、富貴紙でつくるランプシェードキットを開発した。
⑥音別地域交流拠点での紙漉き体験の受入れ	⑥音別地域交流拠点施設での紙漉き体験の受入れ ・ルート38音別館おんぼーにて、B4サイズおよびハガキサイズの富貴紙漉き体験の受入れを行い、富貴紙の普及促進を図った。(体験者:137名)
⑦地域おこし協力隊による普及促進活動	⑦地域おこし協力隊による普及促進活動 ・地域おこし協力隊(令和2年度採用)による情報発信や、各種イベント開催時に富貴紙製品の販売を行い、普及促進を図った。 ・富貴紙製品の新たな取扱店舗が加わり、販路を拡大することができた。

【紙漉き体験】



【イベント(折り紙体験の様子)】



【富貴紙のランプシェード】



【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		7,196	8,687	4,800
財源	一般財源 (千円)	6,029	6,964	△ 515
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)	1,167	1,723	5,315
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	14,134	14,080	14,430
①	職員数 (人)	2.0	2.0	2.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		54.6	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	

注1) 釧路市の人口 159,014 人(R5.3末現在)
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 安定した製造体制の確立 付加価値を持った富貴紙及び商品の開発 普及促進に向けたPRと販路の拡大 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 目標生産枚数達成のため、安定した製造体制の維持を図るとともに、更なる普及促進を図るため、これまで取り組んできた紙漉き体験会の開催、新商品の開発、販路拡大を継続していく必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 人材の確保、育成を強化するとともに、新たな製品の開発を進めていく。 地域おこし協力隊等のネットワークを活用し、これまで以上に普及促進、販路拡大活動を進めていく。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 安定した製造体制を確立することができたことから、年間生産枚数1万枚以上を目指した増産体制の構築を図る。 富貴紙の普及促進を中心とした地域おこし協力隊との協力体制を築き、釧路市外への普及、販促活動の強化を図る。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	テレワーク等推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	総合政策部都市経営課、産業振興部産業推進室 産業振興部観光振興室、産業振興部阿寒観光振興課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
目的と概要	近年の働き方改革による労働環境の多様化や、新型コロナウイルスの感染症拡大でテレワークの活用が加速化し、人の流れが東京圏以外の地域へ向き始めている。新たな人・企業を呼び込む切り口として、ワーケーションを推進することで、人・企業の流れを創出し、首都圏等からの企業の呼び込み・移住に結び付ける。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>1. テレワーク環境整備事業</p> <p>①コワーキングスペース(MOO5階)の管理・機能強化</p> <p>②ワーケーションモニターツアーの実施</p> <p>2. テレワーク情報発信事業</p> <p>①テレワーク及びワーケーション紹介用ホームページの管理</p> <p>②WEB等各種メディアを使った情報発信</p> <p>3. 企業誘致に係るビジネスマッチングイベント参加及びトップセールス事業</p> <p>①ビジネスマッチングイベント参加</p> <p>②市長等の首都圏・関西圏へのトップセールス</p>	<p>1. テレワーク環境整備事業</p> <p>(1)コワーキングスペースの管理・機能強化</p> <p>パーソルワークスデザイン株式会社に管理・機能強化及びモニターツアーなど、首都圏等からの企業の呼び込み等を委託し、集客力の強化を図った。</p> <p>(2)ワーケーションモニターツアーの実施</p> <p>釧路地域モニターツアー</p> <p>(1回目:令和4年10月実施、2回目:令和5年1月実施)</p> <p>阿寒地域モニターツアー(令和5年2月実施)</p> <p>2. テレワーク情報発信事業</p> <p>(1)テレワーク及びワーケーション紹介ホームページの管理</p> <p>【URL】http://kushiro-workstyle.jp</p> <p>(2)WEB等各種メディアを使った情報発信</p> <p>①PRtimesを活用した情報発信</p> <p>3. 企業誘致に係るビジネスマッチングイベント参加及びトップセールス事業</p> <p>(1)ビジネスマッチングイベント参加</p> <p>①令和4年度自治体×企業オンラインマッチングイベント参加(株式会社あわせ主催)</p> <p>実績:首都圏等の企業者と商談</p> <p>主な商談先:システム・アプリ開発事業者、観光事業者、クリエイター等</p>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費	総額 (千円)	34,464	7,815	7,115
財源	一般財源 (千円)	41	3,951	7,115
	国道支出金 (千円)	34,423	3,864	
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	3,534	3,520	3,608
①	職員数 (人)	0.5	0.5	0.5
参考	市民一人あたりの費用 (円)		49.1	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持	
課題	・首都圏等から人・企業の流れを創出し、釧路市への呼び込み・移住に結び付ける取り組みを進める必要がある。	課題	・首都圏等から人・企業の流れを創出し、釧路市への呼び込み・移住に結び付ける取り組みを進める必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	・民間が有する経営能力及び技術的能力等を最大限活かしながら、首都圏等の人・企業の集客及び本市への呼び込みを加速化させる。	今後(令和6年度以降)の方向性	・民間が有する経営能力及び技術的能力等を最大限活かしながら、首都圏等の人・企業の集客及び本市への呼び込みを加速化させる。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	女性求職者就労促進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部商業労政課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	人口減少に歯止めをかけ、地域経済が持続的に発展するためには、産業の多様な担い手を生み出すための環境整備が必要である。地域の潜在的労働力として期待される女性の活躍の促進を目的として、女性求職者を対象とした就労支援講座、キャリアカウンセリングの実施、事業者との就職マッチングの機会の提供および起業相談等を実施する。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		2,717	2,783	3,857
財源	一般財源 (千円)	1,359	1,392	1,929
	国道支出金 (千円)	1,358	1,391	1,928
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	707	704	722
①	職員数 (人)	0.1	0.1	0.1
参考	市民一人あたりの費用 (円)		17.5	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>○ 女性求職者就労促進事業の実施 対象者：市内在住の女性求職者</p> <p>1. 再就職不安解消セミナーの実施 現在離職している子育て世代の女性が再就職に踏み出すためのセミナーを開催する。</p> <p>2. 就労支援講座の実施 ①現在離職している子育て世代の女性を対象とした働くための意識づくりと職業スキルの向上に資する就労支援講座 ②非正規雇用の女性を対象とした正規雇用転職や将来のためのキャリアアップに資する就労支援講座</p> <p>3. キャリアコンサルティングの実施 ①就労支援講座の参加者及び②随時希望者に対し、個々に即した就労促進に係るキャリアコンサルティングを実施する。</p> <p>4. 市内事業者との就職マッチング機会の提供 より良い職場を見つけるための市内事業者とのマッチングの機会を提供する。</p> <p>5. 起業相談の実施 起業希望者に対し、起業等に関する相談業務を実施する。</p>	<p>○ 女性求職者就労促進事業の実施 事業受託者である㈱MOKA. により、計画通り事業を実施した。</p> <p>1. 再就職不安解消セミナーの実施 実施日 8月29日 参加人数 5名(うち、託児利用者 5名)</p> <p>2. 就労支援講座の実施 ①実施期間 9月27日～11月29日 講座回数 10回 参加人数 11名(うち、託児利用者 7名) ②実施期間 9月27日～10月25日 講座回数 5回 参加人数 5名</p> <p>3. キャリアコンサルティングの実施 カウンセリング実施人数 ①16名、②18名 カウンセリングの実施回数 ①50回、②24回 (1回につき30分～1時間)</p> <p>4. 市内事業者との就職マッチング機会の提供 実施日 11月22日 企業数 3社、参加人数 8名</p> <p>5. 起業相談の実施 実施日 11月19日 相談人数 5名</p> <p>◎新規就労者数 12名</p>

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	
課題	・ 介護等の人手不足業種への新規就労者数を増加させるため、求職者の個々のニーズ(状況)に即した求人開拓及びマッチング機会の提供を実施する必要がある。	課題	・ 介護等の人手不足業種への新規就労者数を増加させるため、求職者の個々のニーズ(状況)に即した求人開拓及びマッチング機会の提供を実施する必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	・ 子育て世代女性の再就職支援とともに、将来に不安を抱える非正規雇用女性のキャリアアップを支援することで、女性の活躍を促進する。	今後(令和6年度以降)の方向性	・ 子育て世代女性の再就職支援とともに、将来に不安を抱える非正規雇用女性のキャリアアップを支援するほか、企業との連携により短時間勤務が可能となる求人の切り出しを図ることで、女性の活躍を促進する。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	人材確保・定着促進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部商業労政課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	生産年齢人口の減少が加速しており、特に社会減については市外への進学・就職による影響が大きい。これを食い止めるために、地域を離れる前に地元企業の情報や魅力を伝える取組を実施する。実施に当たっては、関係機関が実施していない手薄な部分の事業を構築する。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>①振興局主催「じもと×しごと発見フェア」への会場費支援 地域の企業の魅力を発信する企業展示会を開催し、若年者の地元の就職を促進するとともに、早期離職防止を図る。</p> <p>②釧路商工会議所主催「くしろ合同会社説明会」への会場費支援 2022年3月卒業予定の学生及び高校生等を対象とした合同企業説明会の開催。</p> <p>③教育局主催「新規高等学校卒業予定者等企業説明会」への会場費支援 2024年3月卒業予定の高校生を対象とした合同企業説明会の開催。</p> <p>④奨学金返済支援事業の実施 人材確保及び人材の定着を促進するため、市内の中小企業等で勤務する方の経済的負担軽減を目的に協力企業とタイアップした奨学金の返済支援を実施する。</p>	<p>①振興局主催「じもと×しごと発見フェア」への会場費支援 開催日：1月23日（釧路市観光国際交流センター） ◎参加者数：152名 ◎参加企業数：24社</p> <p>②釧路商工会議所主催「くしろ合同会社説明会」への会場費支援 開催日：5月12日 ◎参加者数：204名 ◎参加企業数：62社</p> <p>③教育局主催「新規高等学校卒業予定者等企業説明会」への会場費支援 開催日：3月8日 ◎参加者数：164名 ◎参加企業数：61社</p> <p>④奨学金返済支援事業 ◎交付人数：7名 ◎交付金額合計：167千円</p>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		1,333	811	10,068
財源	一般財源 (千円)	667	412	9,697
	国道支出金 (千円)	666	232	371
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)		167	
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	2,120	2,112	2,165
①	職員数 (人)	0.3	0.3	0.3
参考	市民一人あたりの費用 (円)		5.1	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持	
課題	・少子化や進学率の上昇により、新規高卒者の就職者数が減少していくなか、市内外の大学生等を対象とした企業の情報発信強化が必要。	課題	・少子化や進学率の上昇により、企業説明会の参加者数は減少している。その為、企業説明会だけでなく奨学金返済事業を認知してもらい、市内就職のメリットを発信していくことが必要。
今後(令和5年度以降)の方向性	・奨学金返済支援制度による企業の魅力向上や就職支援サイト掲載による情報発信の強化など、大学生等を対象とした採用力向上の取組を進めていく。	今後(令和6年度以降)の方向性	・これまでの取り組みは継続し、今年度からスタートした奨学金返済支援制度に関しては登録企業と利用者を増加させるため市HP以外の場でも周知活動を行い、企業の魅了向上および大学進学者等の人材確保に取り組んでいく。



令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	UIJターン推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部商業労政課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	人口が減少する中でも地域経済の活力を維持していくため、市外から市内企業に就職する人を増やすことを目的として、求職者と求人企業の登録制度によりUIJターンの就職マッチングを行う。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		3,081	3,450	18,797
財源	一般財源 (千円)	1,222	1,175	2,364
	国庫支出金 (千円)	1,859	2,275	5,127
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			11,306
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	2,120	2,112	2,165
①	職員数 (人)	0.3	0.3	0.3
参考	市民一人あたりの費用 (円)		21.7	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>1. ワンストップのUIJターン就職マッチング 商業労政課において無料職業紹介機能を取得し、市東京事務所等と連携し、UIJターン就職希望者と人材を求める企業の登録制度を運用し、就職マッチングを行う。</p>  <p style="text-align: center;">【就職マッチングの流れ】</p> <p>2. UIJターン新規就業支援事業(移住支援金の交付) 国の「わくわく地方生活実現政策パッケージ」を活用し、東京圏から釧路市内へのUIJターン就職者や起業家、テレワーク移住者へ、移住支援金を給付する。 ・当初予算: 6,000千円</p> <p>3. UIJターン就職個別相談会 夏休み・お正月等の帰省シーズンに合わせて、UIJターン就職希望者を対象に就職個別相談会を実施するほか、必要に応じて随時個別相談の実施および過年度参加者へのフォローの実施により、企業との就職マッチングを行う。</p> <p>4. くしろ20歳のつどい(成人式)にてUIJターン就職のPR活動 UIJターン就職の促進を目的に「釧路で働く魅力」をPRする。</p> <p>5. JOIN移住・交流&地域おこしフェアおよび北海道移住・交流フェア2022(大阪、東京)への出展 市民協働推進課と合同で出展し、直接つながる機会の少ない東京圏、関西圏の移住希望者等に対して就職支援情報や暮らしに関する情報をタイムリーに伝えることで、移住およびUIJターン就職を促進する。</p>	<p>1. ワンストップのUIJターン就職マッチング ・求職登録者: 25名(新規登録29名、登録抹消26名) ・求人企業登録: のべ191社(新規登録45社) ・就職マッチング: 25件 ◎UIJターン就職者: 5名</p> <p>2. UIJターン新規就業支援事業(移住支援金の交付) ◎釧路市実績: 就職3件 ・北海道実績: 100件(就職17件、起業1件、テレワーク81件、その他1件) ・国実績: 2,495件(就職、起業、テレワークの合計)</p> <p>3. UIJターン就職個別相談会 ①【夏の個別相談会】8月11日 参加者数: 5名(来場2名、オンライン3名)、就職決定数: 2名 ②【冬の個別相談会】1月7日 参加者数: 1名(来場1名)、就職決定数: 0名 ③【ひがし北海道3地域就職相談会】7月30日 参加者数: 2名(オンライン2名)、就職決定数: 0名 ④【オンライン合同企業説明会】8月27日 参加者数: 2名(オンライン2名)、就職決定数: 1名 ⑤【釧路合同企業説明会】2月4日 参加者数: 3名(来場2名、オンライン1名)、就職決定数: 0名 ⑥【日程外での希望者に対する個別相談】通期で随時実施 参加者数: 3名(来場1名、メール2名)、就職決定数: 2名 ◎合計 参加者数: 16名、就職決定数: 5名</p> <p>4. くしろ20歳のつどい(成人式)にてUIJターン就職のPR活動 ・対象者案内状にUIJターン就職促進チラシを同封</p> <p>5. 移住フェア等への出展 【JOIN移住・交流&地域おこしフェア】1月14、15日 ◎ブース来場者数(2日間計): 44組49名 【北海道移住・交流フェア2022】 大阪会場10月15日、東京会場11月6日 ◎ブース来場者数(2日間計): 61組74名</p>  <p style="text-align: right;">【釧路市ブース】</p>

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	・新型コロナウイルス感染症の流行やテレワークの普及により、UIJターン就職希望者からの相談は一定数寄せられているが、ミスマッチングが多く、採用に結び付かないケースが多い。	課題	・新型コロナウイルス感染対策の行動制限緩和や働き方の変化により、UIJターン就職希望者からの相談は一定数寄せられているが、ミスマッチングが多く、採用に結び付かないケースが多い。
今後(令和5年度以降)の方向性	・ワンストップでのUIJターン就職マッチング開始に伴い、UIJターン就職希望者及び求人企業と、状況確認等のヒアリングを定期的に行うことで、ミスマッチングを防ぎ、UIJターン就職の促進を図る。	今後(令和6年度以降)の方向性	・市独自のUIJターン支援金を運用するとともにワンストップのUIJターン就職マッチングにおいて、UIJターン就職希望者及び求人企業と状況確認等のヒアリングを定期的に行いミスマッチングを防ぐことや、都市圏における移住フェア等への参加時に積極的な情報発信を行うことにより、UIJターン就職の促進を図る。